

4 特定課題

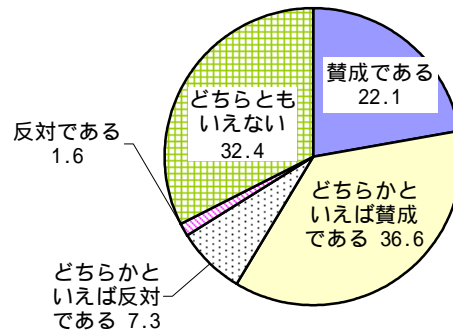
地域主権改革

問33 地域主権改革への考え

政府は、地域主権改革を、憲法の理念の下に、住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにするとともに、地域住民が自らの判断と責任で作っていく「責任の改革」と位置づけて改革を進めています。あなたは、地域主権改革について、どう考えますか。次の中から一つ選んで番号を でかこんでください。

| | (%) |
|-----------------|------|
| 1 賛成である | 22.1 |
| 2 どちらかといえば賛成である | 36.6 |
| 3 どちらかといえば反対である | 7.3 |
| 4 反対である | 1.6 |
| 5 どちらともいえない | 32.4 |

地域主権改革について、どう考えているか聞いたところ、「賛成」と答えた人の割合が58.7%（「賛成である」22.1%、「どちらかといえば賛成である」36.6%）、「反対」が8.9%（「反対である」1.6%、「どちらかといえば反対である」7.3%）、「どちらともいえない」が32.4%となっている。

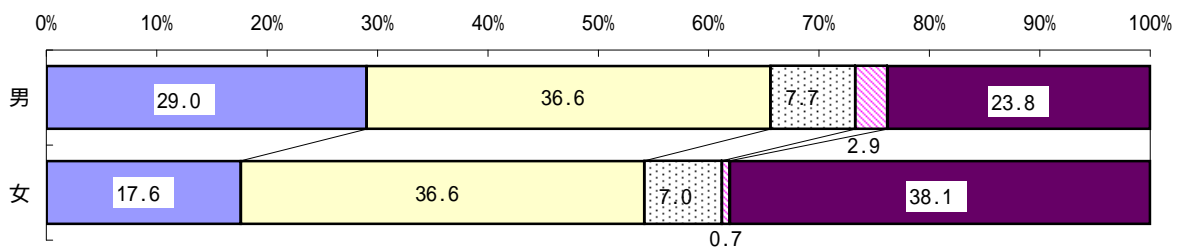


【性別】

性別にみると、「賛成」（「賛成である」または「どちらかといえば賛成である」）と答えた人の割合は、男性（65.6%）の方が女性（54.2%）より11.4ポイント多くなっている。その内訳をみると、「どちらかといえば賛成である」は男女共に36.6%であるのに対し、「賛成である」は男性29.0%、女性17.6%となっている。

また、「反対」（「反対である」または「どちらかといえば反対である」）と答えた人の割合も男性（10.6%）の方が女性（7.7%）より2.9ポイント多くなっている。

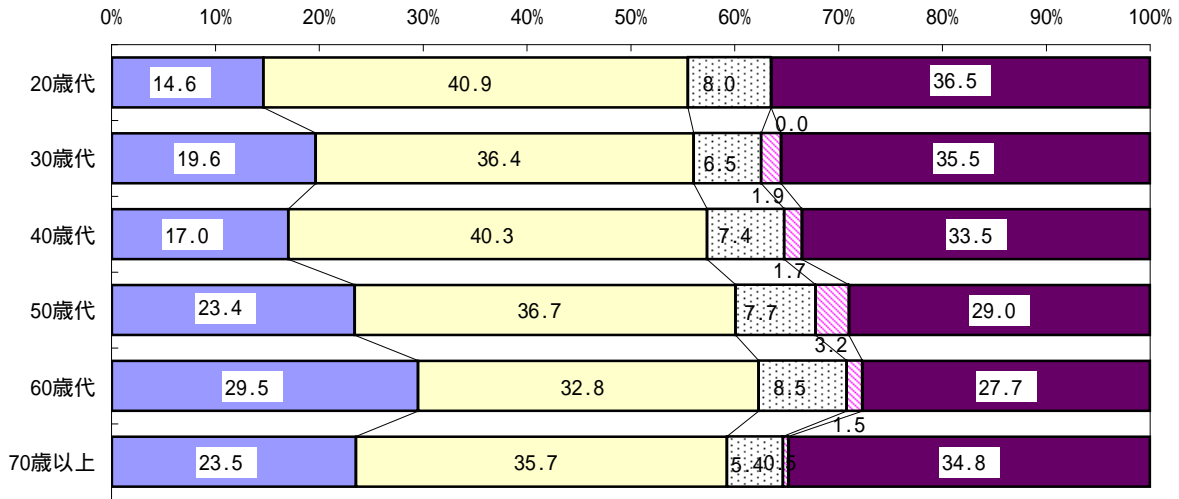
一方、「どちらともいえない」と答えた人の割合は、女性（38.1%）の方が男性（23.8%）より14.3ポイント多くなっている。



■ 賛成である □ どちらかといえば賛成である □ どちらかといえば反対である □ 反対である ■ どちらともいえない

【年齢別】

年齢別にみると、「賛成」（「賛成である」または「どちらかといえば賛成である」）と答えた人の割合は、60歳代（62.3%）、50歳代（60.1%）で60%を超え、他の年齢層と比較してやや多くなっているが、「反対」（「反対である」または「どちらかといえば反対である」）も60歳代（10.0%）、50歳代（10.9%）で他の年齢層と比較して多くなっている。
 また、「どちらともいえない」と答えた人の割合は、70歳以上（34.8%）を除けば、年齢層が低くなるほど多くなっている。



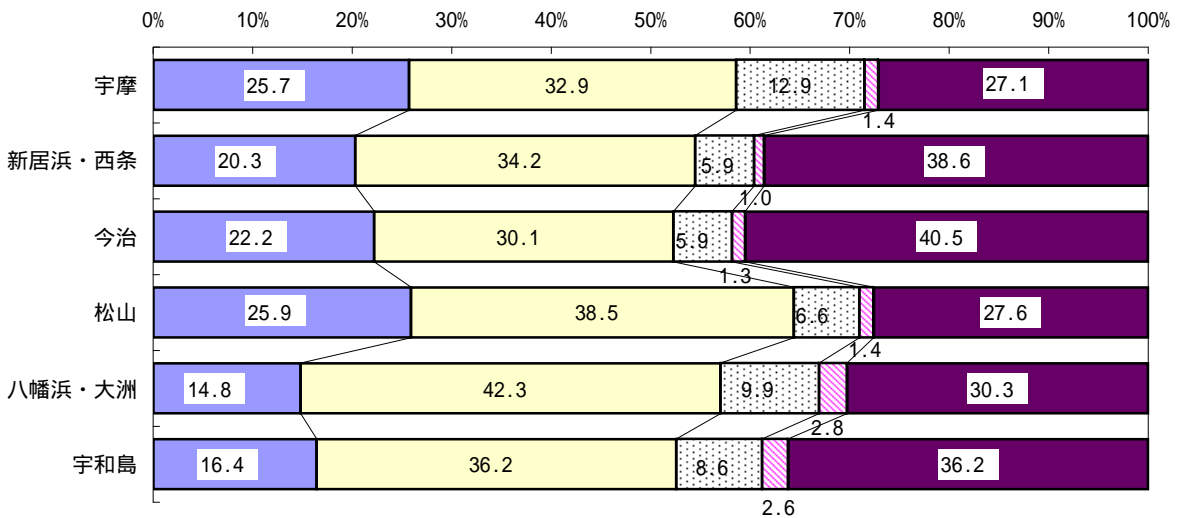
■ 賛成である □ どちらかといえば賛成である □ どちらかといえば反対である □ 反対である ■ どちらともいえない

【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「賛成」（「賛成である」または「どちらかといえば賛成である」）と答えた人の割合は、松山圏域で64.4%と特に多く、以下、宇摩圏域（58.6%）、八幡浜・大洲圏域（57.1%）、新居浜・西条圏域（54.5%）、宇和島圏域（52.6%）、今治圏域（52.3%）の順となっている。

「反対」（「反対である」または「どちらかといえば反対である」）と答えた人の割合は、宇摩圏域（14.3%）、八幡浜・大洲圏域（12.7%）、宇和島圏域（11.2%）で10%を超え、他の圏域と比較して多くなっている。

「どちらともいえない」と答えた人の割合は、今治圏域（40.5%）、新居浜・西条圏域（38.6%）、宇和島圏域（36.2%）で、他の圏域と比較して多くなっている。



■ 賛成である □ どちらかといえば賛成である □ どちらかといえば反対である □ 反対である ■ どちらともいえない

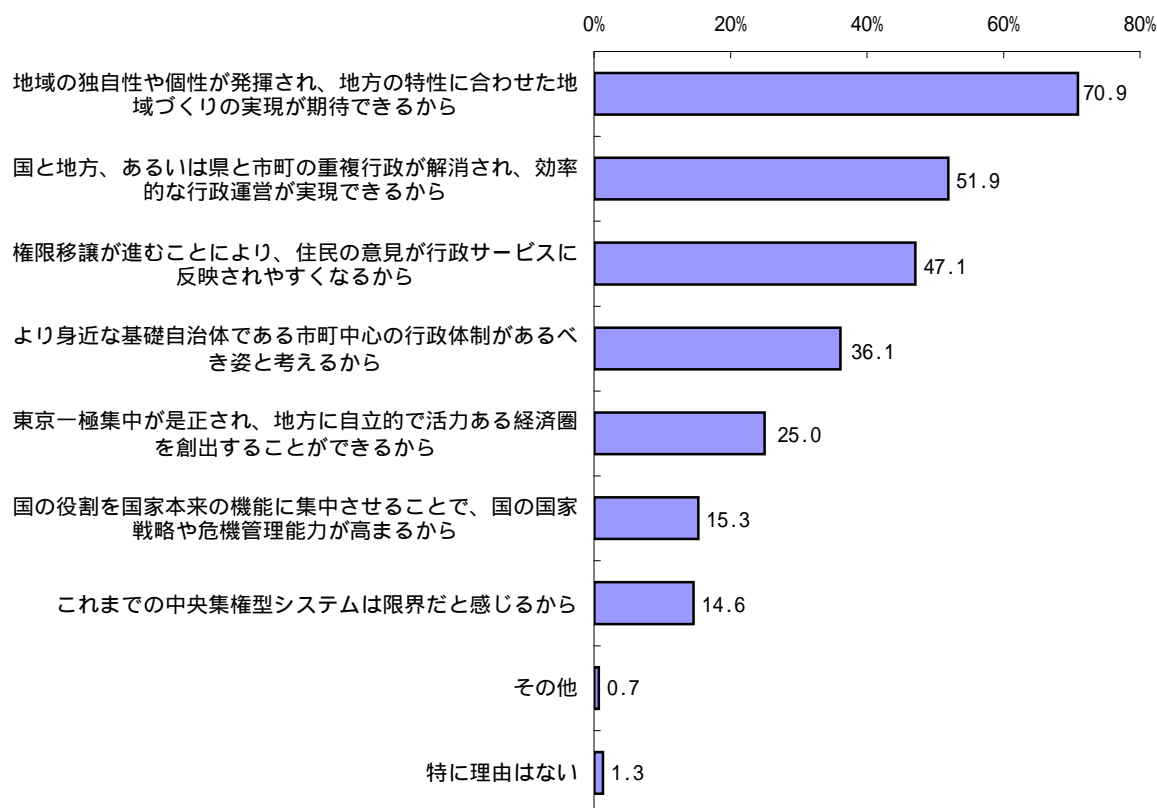
問33-1 地域主権改革に賛成の理由

あなたが地域主権改革に賛成であるのは、どういう理由からですか。あなたの考えに近いものを、次の中から三つまで選んで番号を でかこんでください。

(N = 745人) (複数回答) (%)

| | |
|---|------|
| 1 地域の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりの実現が期待できるから | 70.9 |
| 2 権限移譲が進むことにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから | 47.1 |
| 3 より身近な基礎自治体である市町中心の行政体制があるべき姿と考えるから | 36.1 |
| 4 国と地方、あるいは県と市町の重複行政が解消され、効率的な行政運営が実現できるから | 51.9 |
| 5 これまでの中央集権型システムは限界だと感じるから | 14.6 |
| 6 東京一極集中が是正され、地方に自立的で活力ある経済圏を創出することができるから | 25.0 |
| 7 国の役割を国家本来の機能に集中させることで、国の国家戦略や危機管理能力が高まるから | 15.3 |
| 8 その他 | 0.7 |
| 9 特に理由はない | 1.3 |

地域主権改革に賛成である理由について聞いたところ、「地域の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりの実現が期待できるから」と答えた人の割合が70.9%と最も多く、以下「国と地方、あるいは県と市町の重複行政が解消され、効率的な行政運営が実現できるから」(51.9%)、「権限移譲が進むことにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから」(47.1%)、「より身近な基礎自治体である市町中心の行政体制があるべき姿と考えるから」(36.1%)などの順となっている。

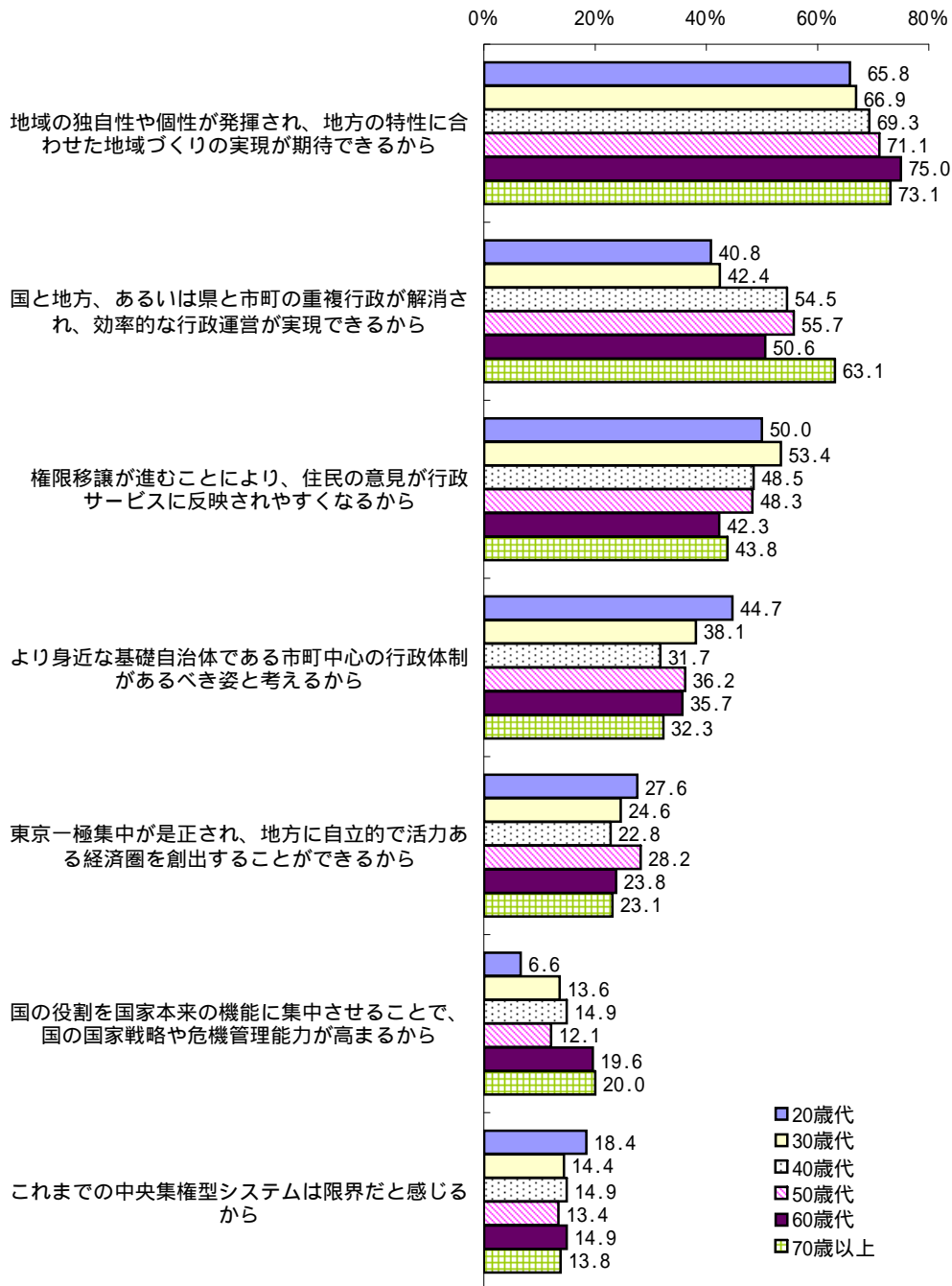


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「地域の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりの実現が期待できるから」と答えた人の割合が最も多く、概ね年齢層が高くなるほど多くなっている。

また、「国と地方、あるいは県と市町の重複行政が解消され、効率的な行政運営が実現できるから」と答えた人の割合は70歳以上（63.1%）で他の年齢層と比較して特に多くなっている一方、20歳代（40.8%）、30歳代（42.4%）では特に少なくなっている。

このほか、「より身近な基礎自治体である市町中心の行政体制があるべき姿と考えるから」と答えた人の割合は20歳代で、「国の役割を国家本来の機能に集中させることで、国の国家戦略や危機管理能力が高まるから」は60歳以上で、それぞれ他の年齢層と比較して多くなっている。

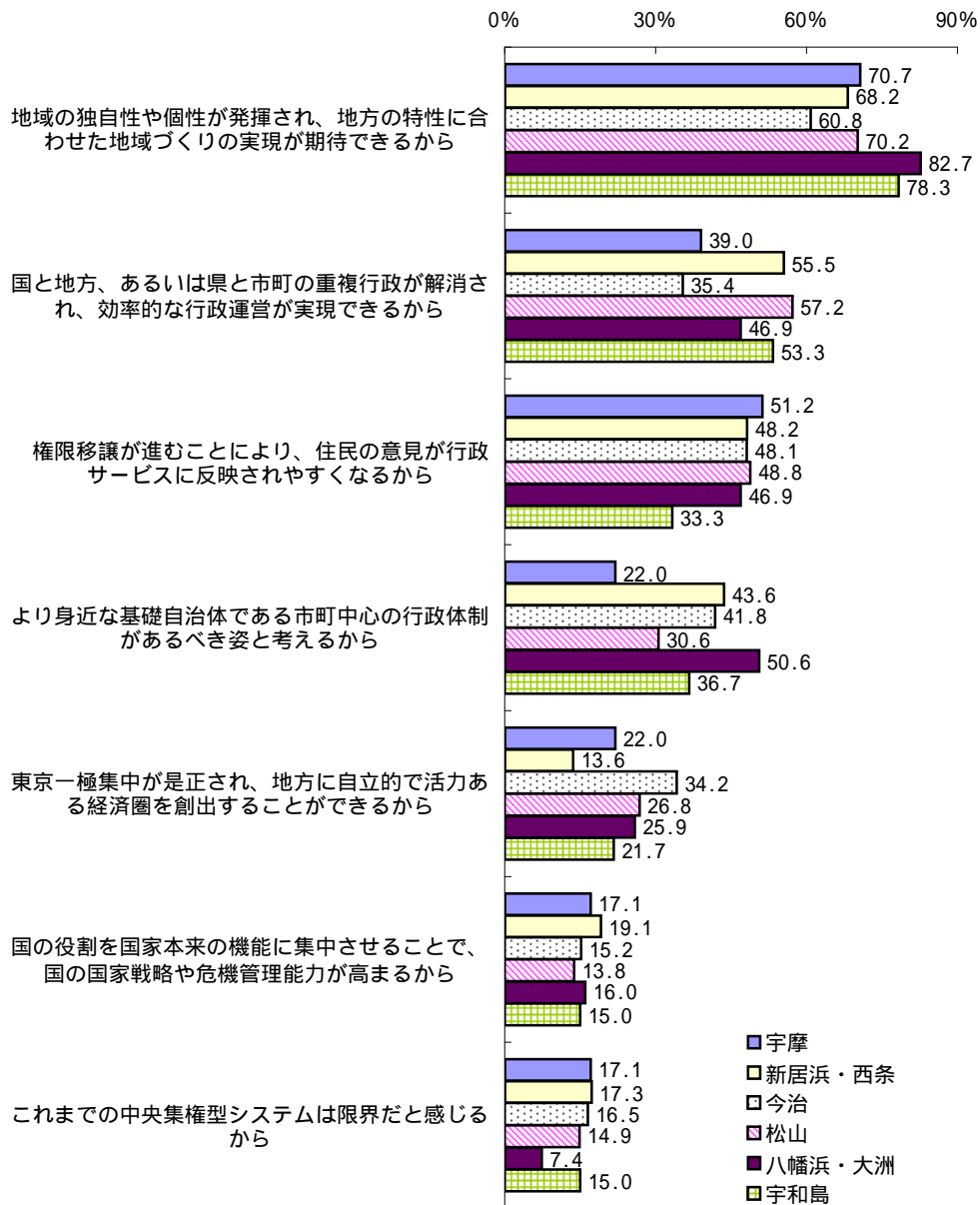


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「地域の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりの実現が期待できるから」と答えた人の割合が最も多く、中でも八幡浜・大洲圏域（82.7%）、宇和島圏域（78.3%）で他の圏域と比較して特に多くなっている一方、今治圏域（60.8%）では特に少なくなっている。

また、「国と地方、あるいは県と市町の重複行政が解消され、効率的な行政運営が実現できるから」と答えた人の割合は、宇摩圏域（39.0%）、今治圏域（35.4%）で、「権限移譲が進むことにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから」は宇和島圏域（33.3%）で、「より身近な基礎自治体である市町中心の行政体制があるべき姿と考えるから」と答えた人の割合は宇摩圏域（22.0%）、松山圏域（30.6%）、宇和島圏域（36.7%）で、「これまでの中央集権型システムは限界だと感じるから」は八幡浜・大洲圏域（7.4%）で、それぞれ他の圏域と比較して特に少なくなっている。

このほか、「東京一極集中が是正され、地方に自立的で活力ある経済圏を創出することができるから」と答えた人の割合は、今治圏域（34.2%）で他の圏域と比較して特に多くなっている一方、新居浜・西条圏域（13.6%）では特に少なくなっている。



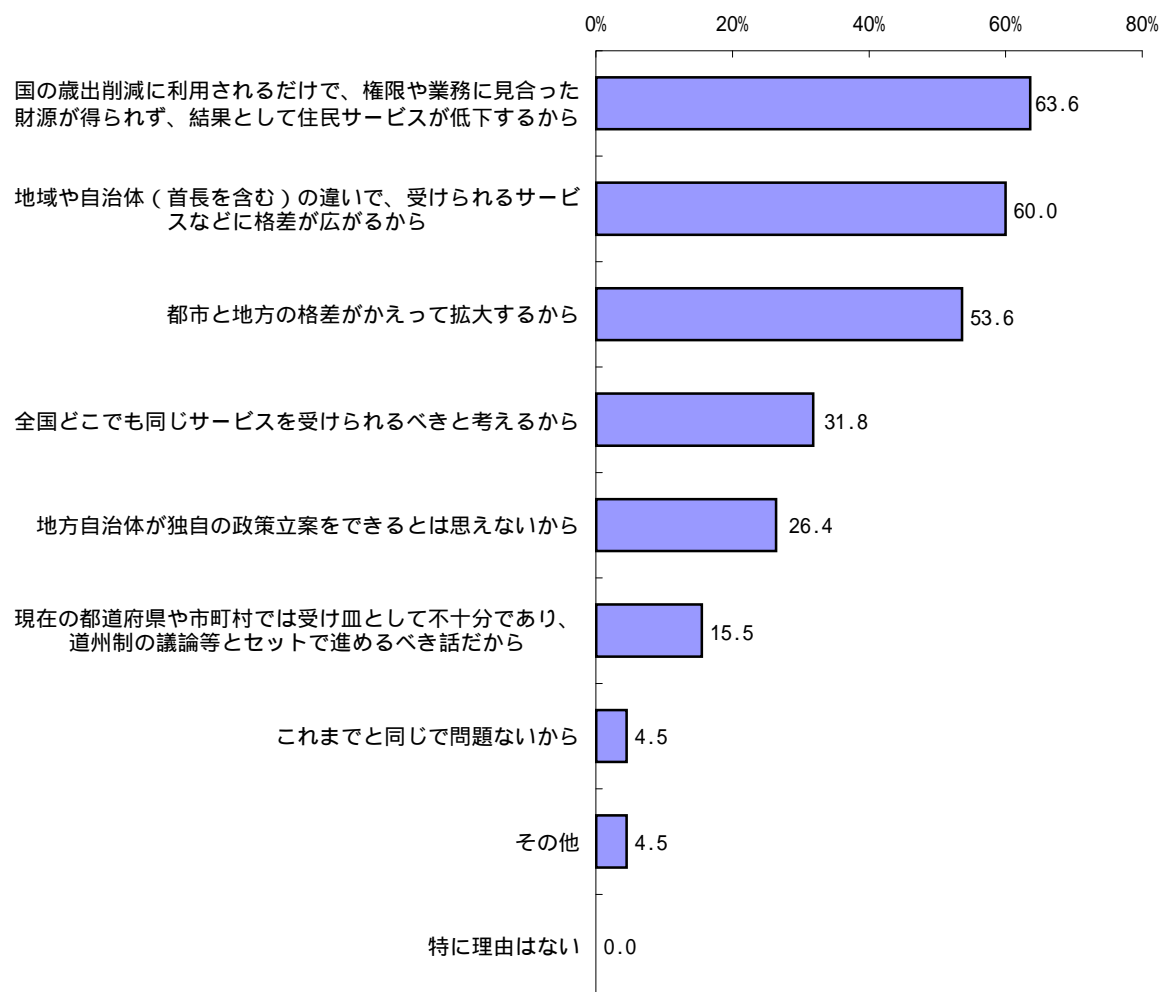
問33-2 地域主権改革に反対の理由

あなたが地域主権改革に反対であるのは、どういう理由からですか。あなたの考えに近いものを、次の中から三つまで選んで番号を でかこんでください。

(N=110人)(複数回答)(%)

| | |
|--|------|
| 1 地域や自治体(首長を含む)の違いで、受けられるサービスなどに格差が広がるから | 60.0 |
| 2 都市と地方の格差がかえって拡大するから | 53.6 |
| 3 全国どこでも同じサービスを受けられるべきと考えるから | 31.8 |
| 4 国の歳出削減に利用されるだけで、権限や業務に見合った財源が得られず、結果として住民サービスが低下するから | 63.6 |
| 5 地方自治体が独自の政策立案をできるとは思えないから | 26.4 |
| 6 現在の都道府県や市町村では受け皿として不十分であり、道州制の議論等とセットで進めるべき話だから | 15.5 |
| 7 これまでと同じで問題ないから | 4.5 |
| 8 その他 | 4.5 |
| 9 特に理由はない | 0.0 |

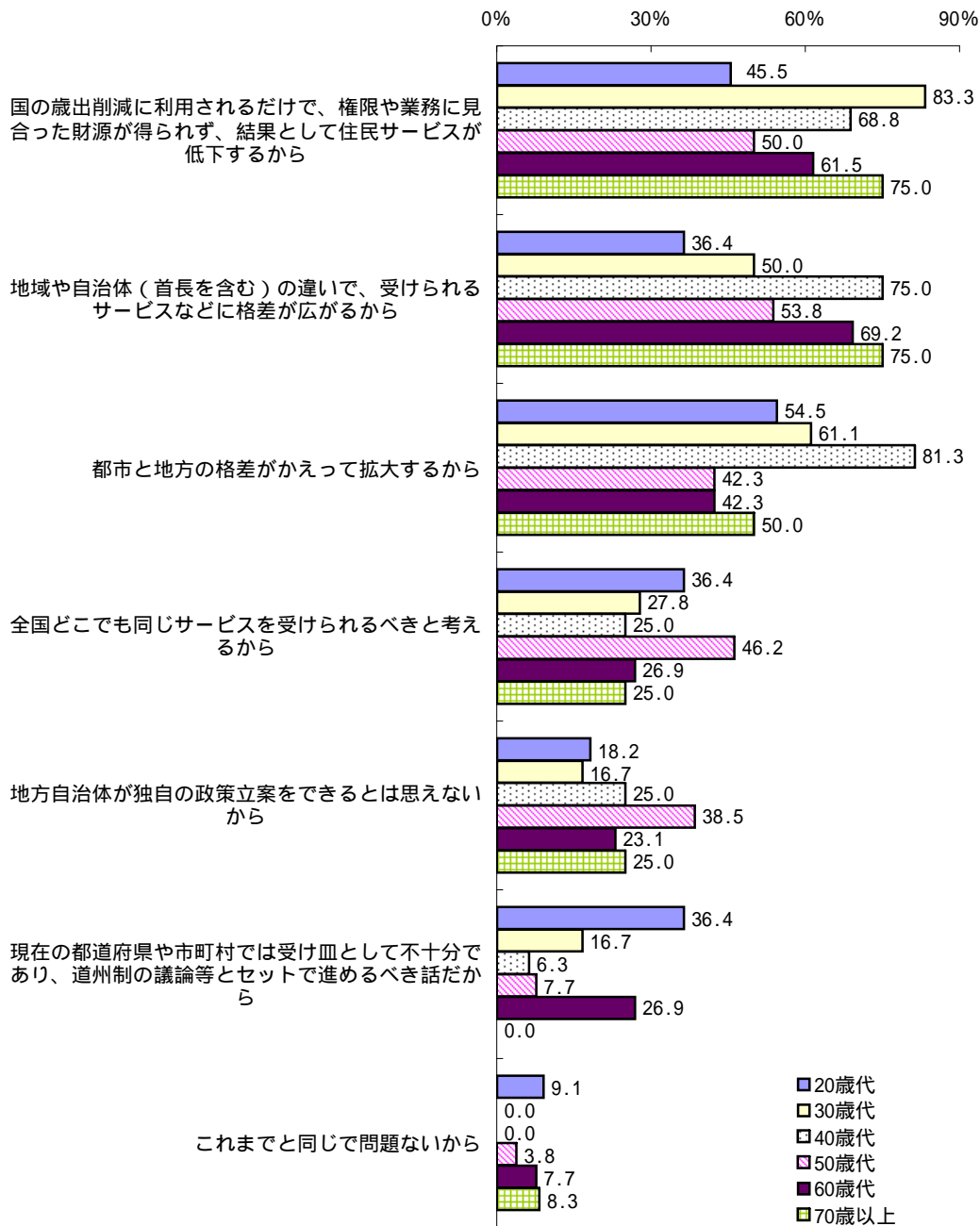
地域主権改革に反対である理由について聞いたところ、「国の歳出削減に利用されるだけで、権限や業務に見合った財源が得られず、結果として住民サービスが低下するから」と答えた人の割合が63.6%と最も多く、以下「地域や自治体の違いで、受けられるサービスなどに格差が広がるから」(60.0%)、「都市と地方の格差がかえって拡大するから」(53.6%)、「全国どこでも同じサービスを受けられるべきと考えるから」(31.8%)などの順となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代では「国の歳出削減に利用されるだけで、権限や業務に見合った財源が得られず、結果として住民サービスが低下するから」と答えた人の割合が最も多く、他の年齢層と比較しても83.3%と特に多くなっている。50歳代、60歳代では「地域や自治体の違いで、受けられるサービスなどに格差が広がるから」が最も多く、中でも60歳代（69.2%）では40歳代、70歳以上（どちらも75.0%）とともに他の年齢層と比較して特に多くなっている。70歳以上では、この2項目が同率で多くなっている。20歳代、40歳代では「都市と地方の格差がかえって拡大するから」が最も多く、中でも40歳代（81.3%）で特に多くなっている。

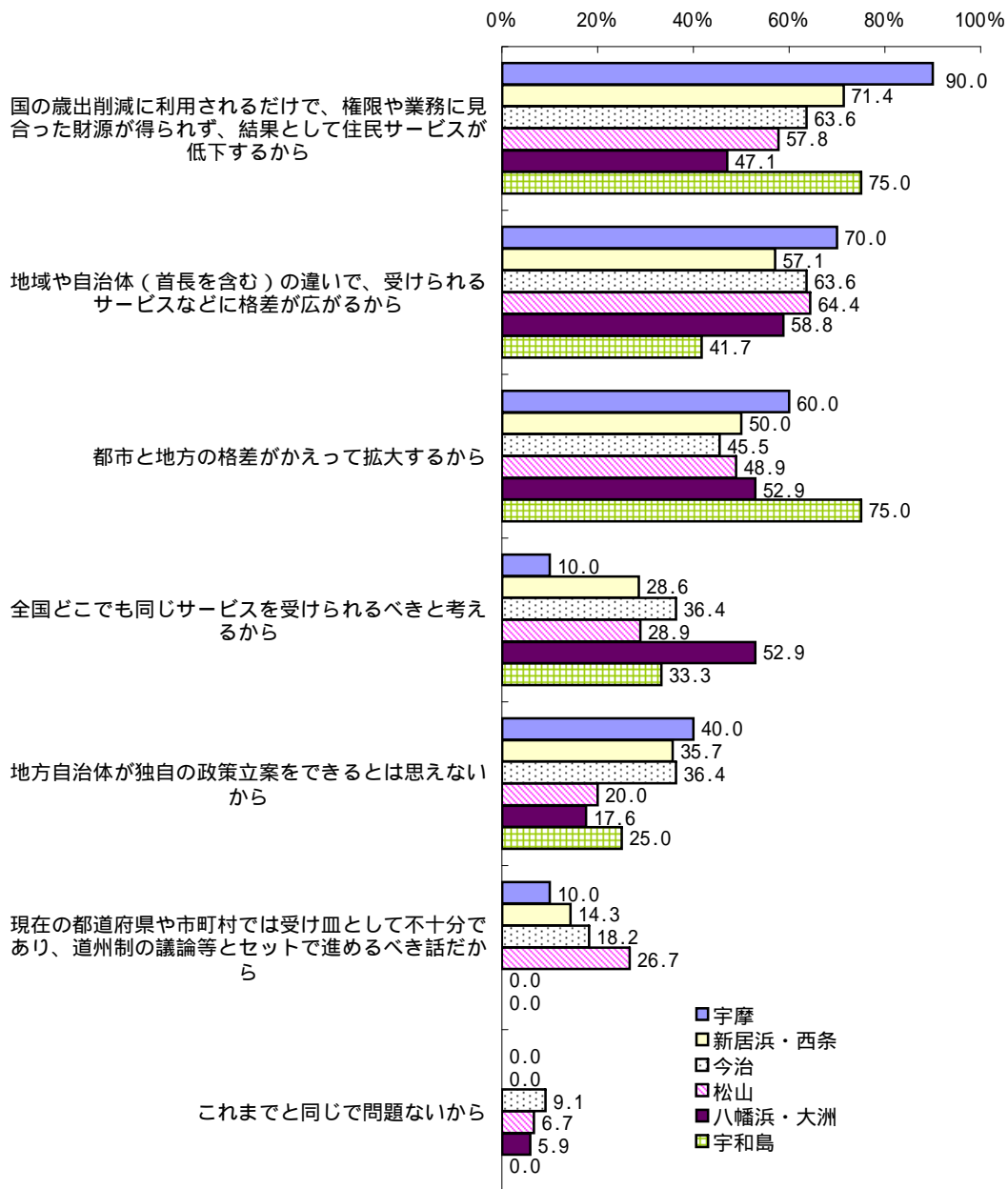
また、「全国どこでも同じサービスを受けられるべきと考えるから」、「地方自治体が独自の政策立案をできるとは思えないから」、「現在の都道府県や市町村では受け皿として不十分であり、道州制の議論等とセットで進めるべき話だから」は20歳代、60歳代で、それぞれ他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域、新居浜・西条圏域では「国の歳出削減に利用されるだけで、権限や業務に見合った財源が得られず、結果として住民サービスが低下するから」と答えた人の割合が最も多く、中でも宇摩圏域で90.0%と特に多くなっている。松山圏域、八幡浜・大洲圏域では「地域や自治体の違いで、受けられるサービスなどに格差が広がるから」が最も多くなっている。今治圏域では、この2項目が同率で多くなっている。宇和島圏域では「国の歳出削減に利用されるだけで、権限や業務に見合った財源が得られず、結果として住民サービスが低下するから」と「都市と地方の格差がかえって拡大するから」が同率で多くなっている。

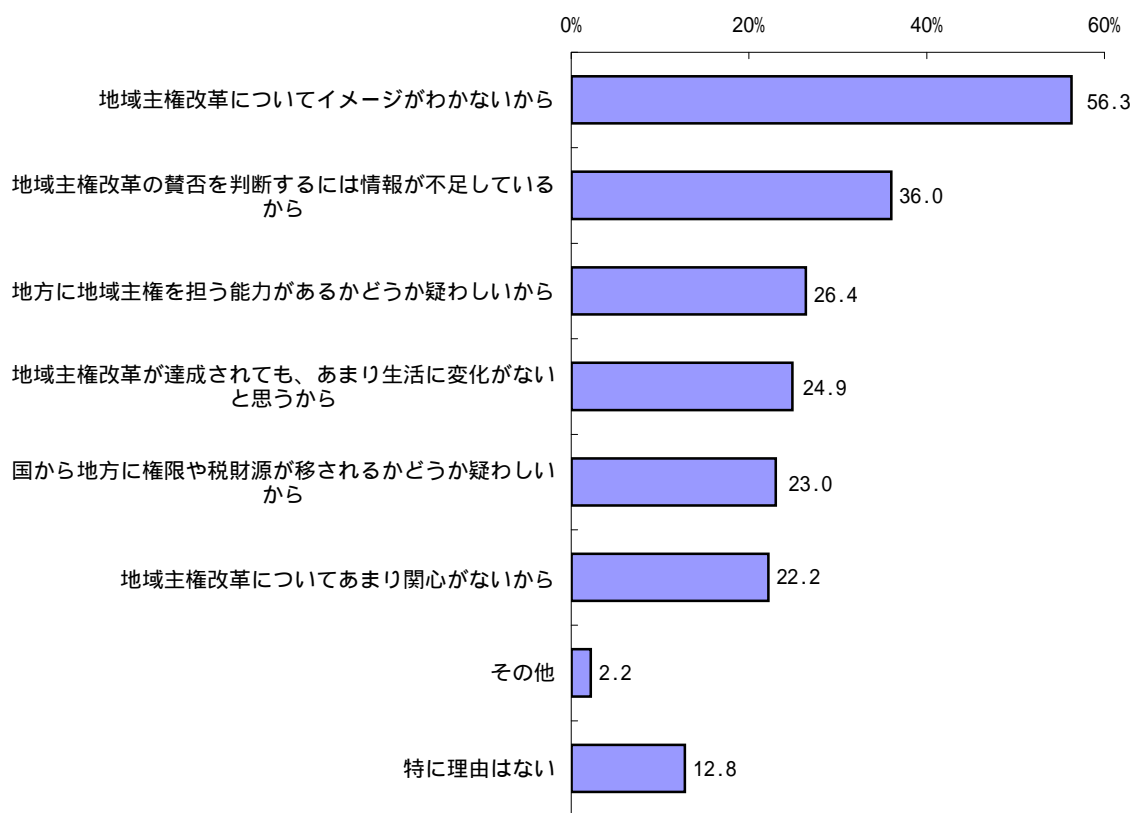
また、「全国どこでも同じサービスを受けられるべきと考えるから」と答えた人の割合は、八幡浜・大洲圏域で、「地方自治体が独自の政策立案をできるとは思えないから」は東予地域（宇摩、新居浜・西条、今治圏域）で、「現在の都道府県や市町村では受け皿として不十分であり、道州制の議論等とセットで進めるべき話だから」は松山圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。



問33-3 地域主権改革についてどちらともいえない理由

| | | |
|---|--------------------------------|------|
| あなたが地域主権改革についてどちらともいえないと考えるのは、どういう理由からですか。あなたの考えに近いものを、次の中から三つまで選んで番号を でかこんでください。 | | |
| (N = 405人) (複数回答) (%) | | |
| 1 | 地域主権改革についてイメージがわからないから | 56.3 |
| 2 | 地域主権改革の賛否を判断するには情報が不足しているから | 36.0 |
| 3 | 地域主権改革についてあまり関心がないから | 22.2 |
| 4 | 地域主権改革が達成されても、あまり生活に変化がないと思うから | 24.9 |
| 5 | 国から地方に権限や税財源が移されるかどうか疑わしいから | 23.0 |
| 6 | 地方に地域主権を担う能力があるかどうか疑わしいから | 26.4 |
| 7 | その他 | 2.2 |
| 8 | 特に理由はない | 12.8 |

地域主権改革についてどちらともいえない理由について聞いたところ、「地域主権改革についてイメージがわからないから」と答えた人の割合が56.3%と最も多く、以下「地域主権改革の賛否を判断するには情報が不足しているから」(36.0%)、「地方に地域主権を担う能力があるかどうか疑わしいから」(26.4%)、「地域主権改革が達成されても、あまり生活に変化がないと思うから」(24.9%)などの順となっている。

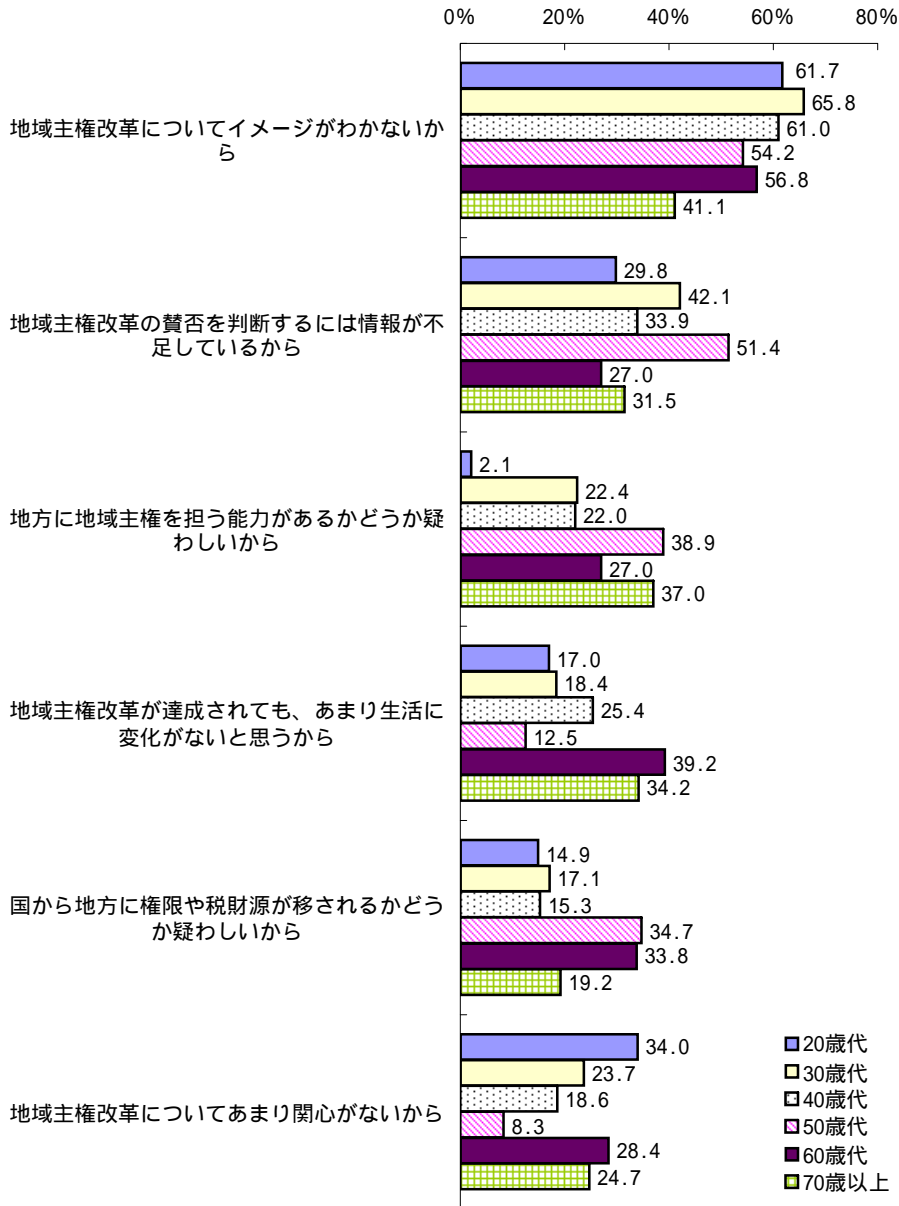


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「地域主権改革についてイメージがわからないから」と答えた人の割合が最も多く、中でも60歳代以下では、50%以上となっている一方、70歳以上では41.1%と特に少なくなっている。

また、「地域主権改革の賛否を判断するには情報が不足しているから」と答えた人の割合は、30歳代（42.1%）、50歳代（51.4%）で、他の年齢層と比較して特に多くなっているほか、「地方に地域主権を担う能力があるかどうか疑わしいから」は50歳代（38.9%）、70歳以上（37.0%）で特に多くなっている一方、20歳代（2.1%）では特に少なくなっている。

このほか、「地域主権改革が達成されても、あまり生活に変化がないと思うから」と答えた人の割合は、60歳代以上で、「国から地方に権限や税財源が移されるかどうか疑わしいから」は50歳代、60歳代で、「地域主権改革についてあまり関心がないから」は20歳代で、それぞれ30%を超え、他の年齢層と比較しても多くなっている。

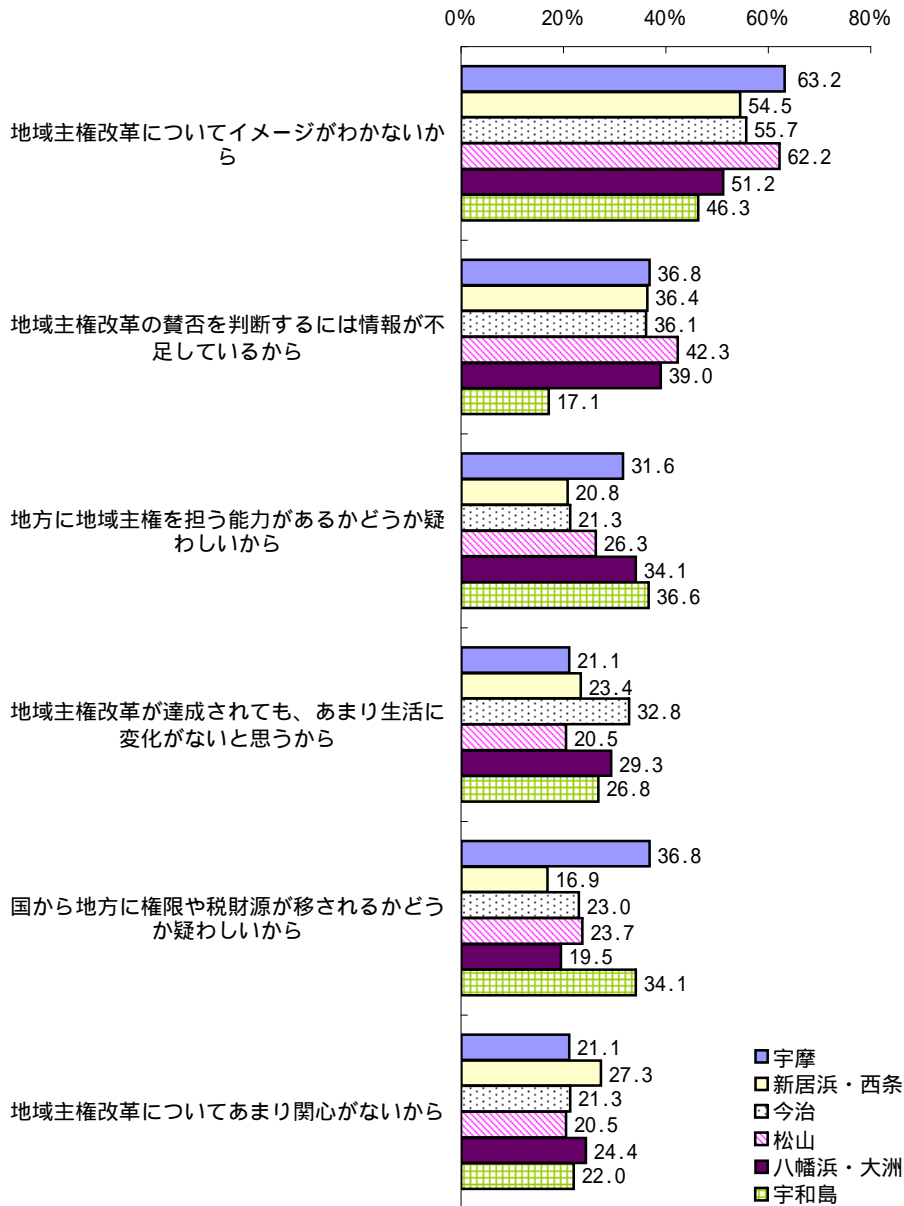


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「地域主権改革についてイメージがわからないから」と答えた人の割合が最も多く、中でも宇摩圏域、松山圏域で他の圏域と比較して多くなっている。

また、「地域主権改革の賛否を判断するには情報が不足しているから」と答えた人の割合は、宇和島圏域（17.1%）で他の圏域と比較して特に少なくなっているほか、「地方に地域主権を担う能力があるかどうか疑わしいから」は宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域で、「地域主権改革が達成されても、あまり生活に変化がないと思うから」は今治圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。

このほか、「国から地方に権限や税財源が移されるかどうか疑わしいから」と答えた人の割合は、宇摩圏域（36.8%）、宇和島圏域（34.1%）で他の年齢層と比較して特に多くなっている。



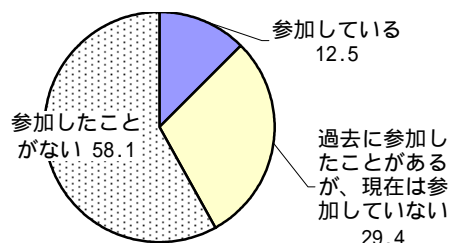
ボランティア活動の活性化

問3 4 ボランティア活動への参加状況

あなたは、現在、ボランティア活動に参加していますか。次の中から一つ選んで番号を
で囲んでください。

| | (%) |
|----------------------------|------|
| 1 参加している | 12.5 |
| 2 過去に参加したことがあるが、現在は参加していない | 29.4 |
| 3 参加したことがない | 58.1 |

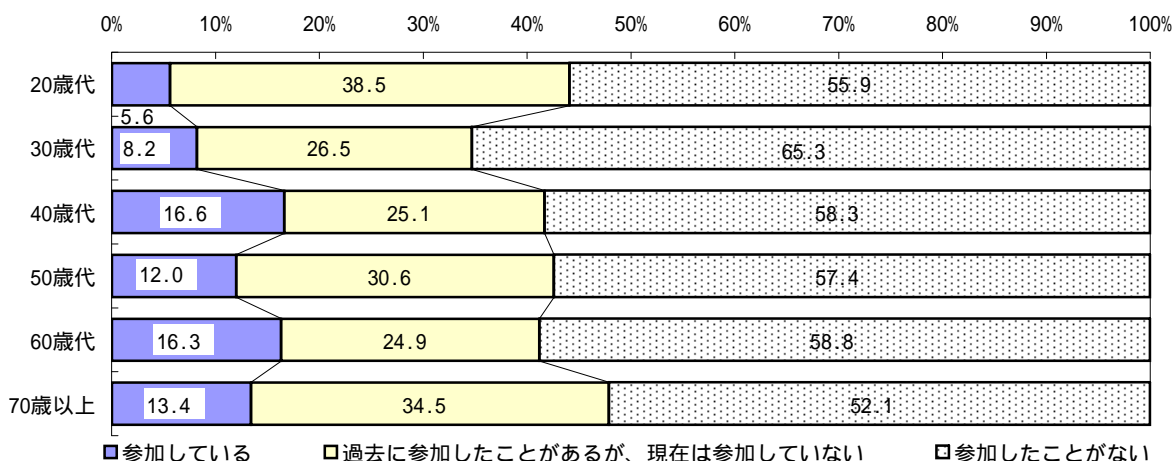
現在、ボランティア活動に参加しているかを聞いたところ、「参加したことがない」と答えた人の割合が58.1%と最も多く、以下「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」(29.4%)、「参加している」(12.5%)の順となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「参加したことがない」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代で65.3%と特に多くなっている。

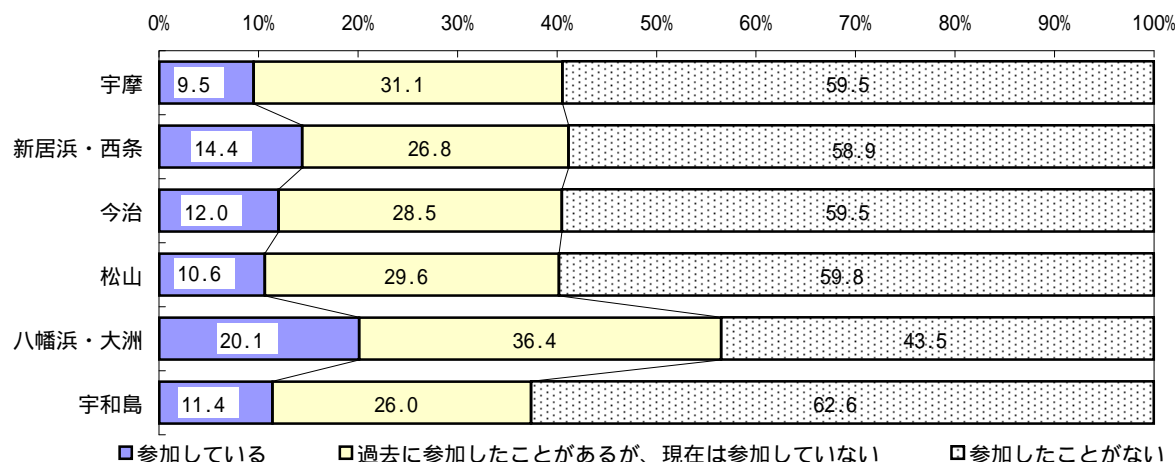
また、「参加している」と答えた人の割合は40歳代以上で、「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」は20歳代、70歳以上で他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「参加したことがない」と答えた人の割合が最も多くなっているが、八幡浜・大洲圏域では43.5%と他の圏域と比較して特になくなっている。

また、「参加している」及び「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」と答えた人の割合は、どちらも八幡浜・大洲圏域で、他の圏域と比較して多くなっている。



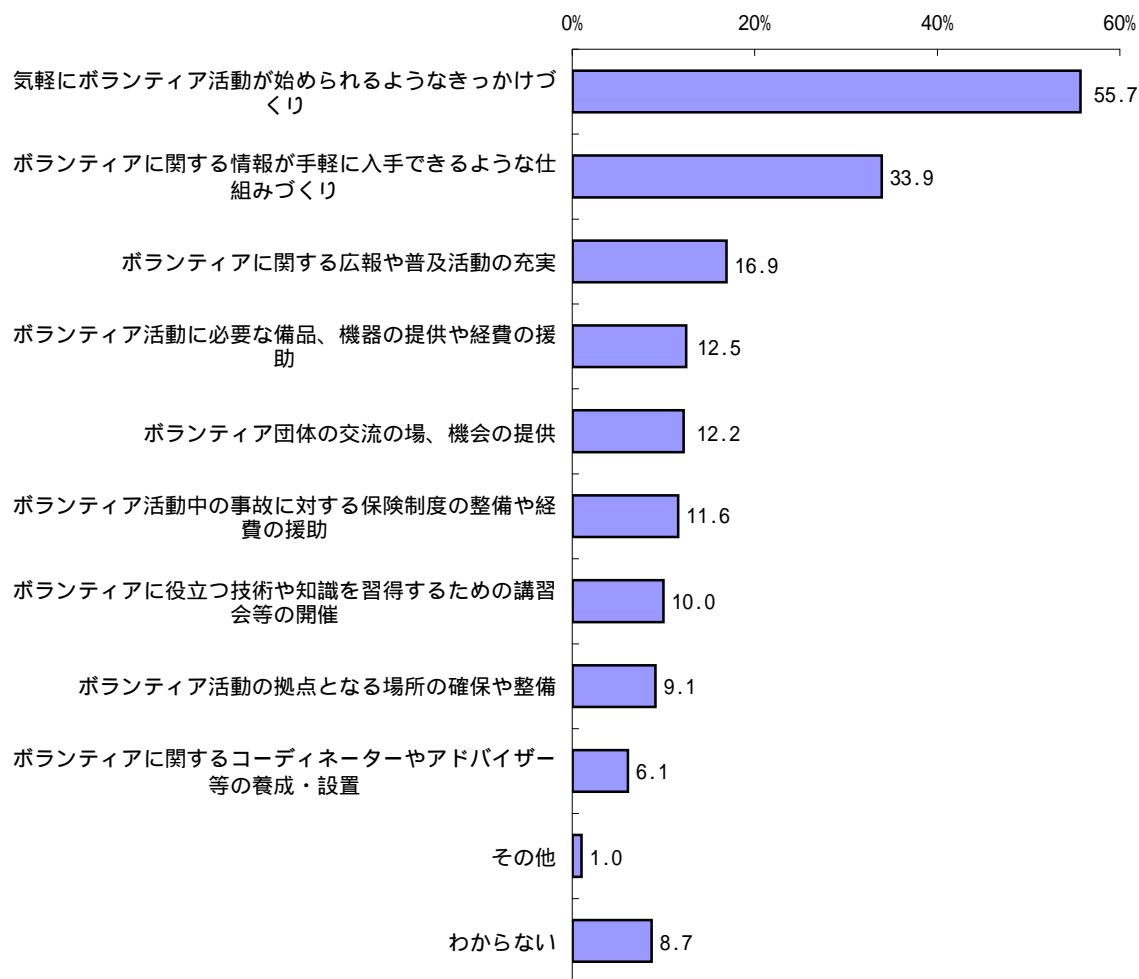
問34-1 ボランティア活動活性化への取組み

ボランティア活動の活性化を図るために、県はどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答)(%)

| | | |
|----|----------------------------------|------|
| 1 | 気軽にボランティア活動が始められるようなきっかけづくり | 55.7 |
| 2 | ボランティアに関する情報が手軽に入手できるような仕組みづくり | 33.9 |
| 3 | ボランティアに関するコーディネーターやアドバイザー等の養成・設置 | 6.1 |
| 4 | ボランティア活動の拠点となる場所の確保や整備 | 9.1 |
| 5 | ボランティア活動に必要な備品、機器の提供や経費の援助 | 12.5 |
| 6 | ボランティアに関する広報や普及活動の充実 | 16.9 |
| 7 | ボランティア活動中の事故に対する保険制度の整備や経費の援助 | 11.6 |
| 8 | ボランティアに役立つ技術や知識を習得するための講習会等の開催 | 10.0 |
| 9 | ボランティア団体の交流の場、機会の提供 | 12.2 |
| 10 | その他 | 1.0 |
| 11 | わからない | 8.7 |

ボランティア活動の活性化を図るために、県はどのようなことに力を入れたら良いと思うかを聞いたところ、「気軽にボランティア活動が始められるようなきっかけづくり」と答えた人の割合が55.7%と特に多く、以下「ボランティアに関する情報が手軽に入手できるような仕組みづくり」(33.9%)、「ボランティアに関する広報や普及活動の充実」(16.9%)、「ボランティア活動に必要な備品、機器の提供や経費の援助」(12.5%)などの順となっている。

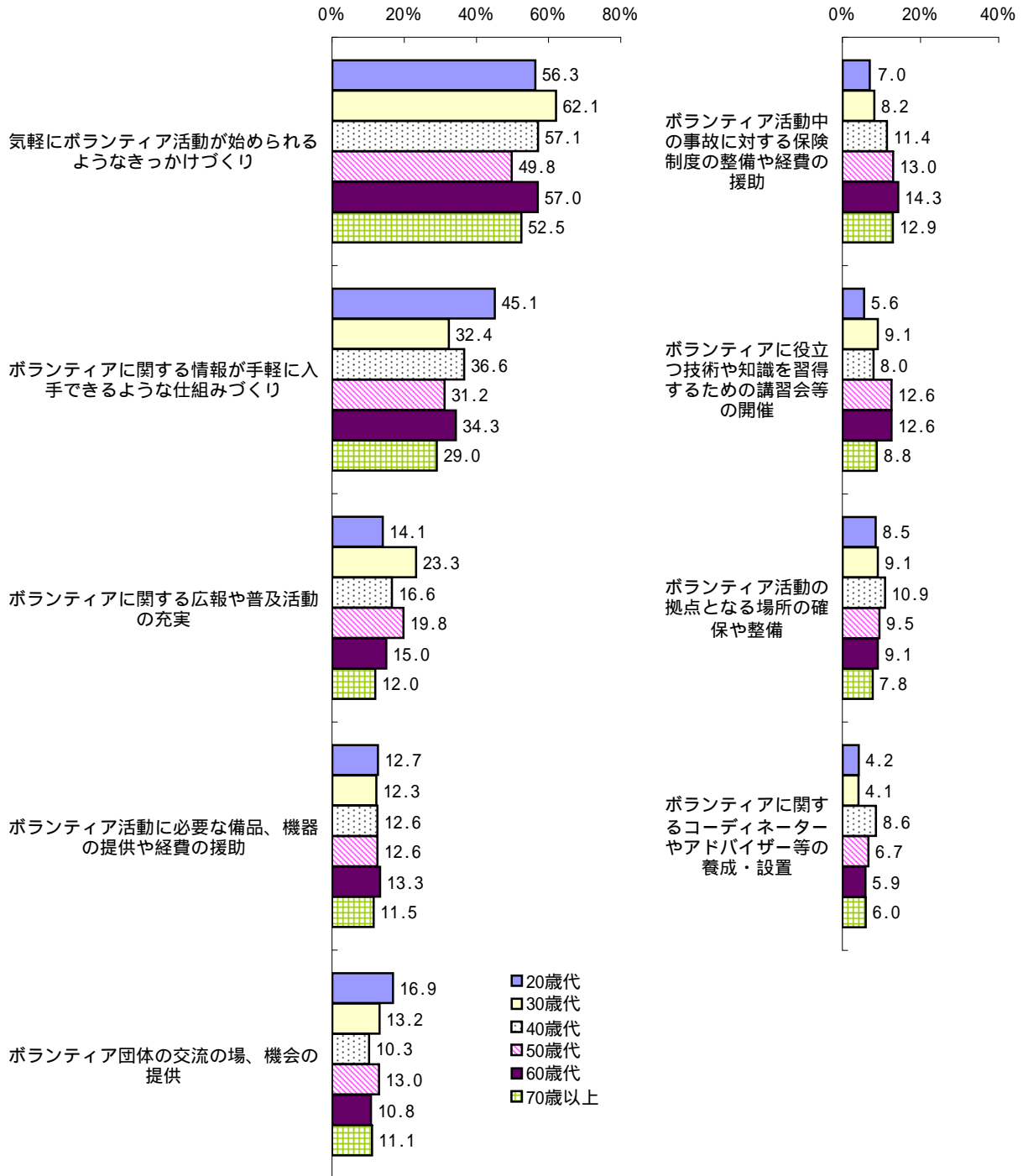


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「気軽にボランティア活動が始められるようなきっかけづくり」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。

また、「ボランティアに関する情報が手軽に入手できるような仕組みづくり」と答えた人の割合は、20歳代（45.1%）で他の年齢層と比較して特に多くなっているほか、「ボランティアに関する広報や普及活動の充実」は30歳代で、「ボランティア団体の交流の場、機会の提供」は20歳代で、それぞれ他の年齢層と比較して多くなっている。

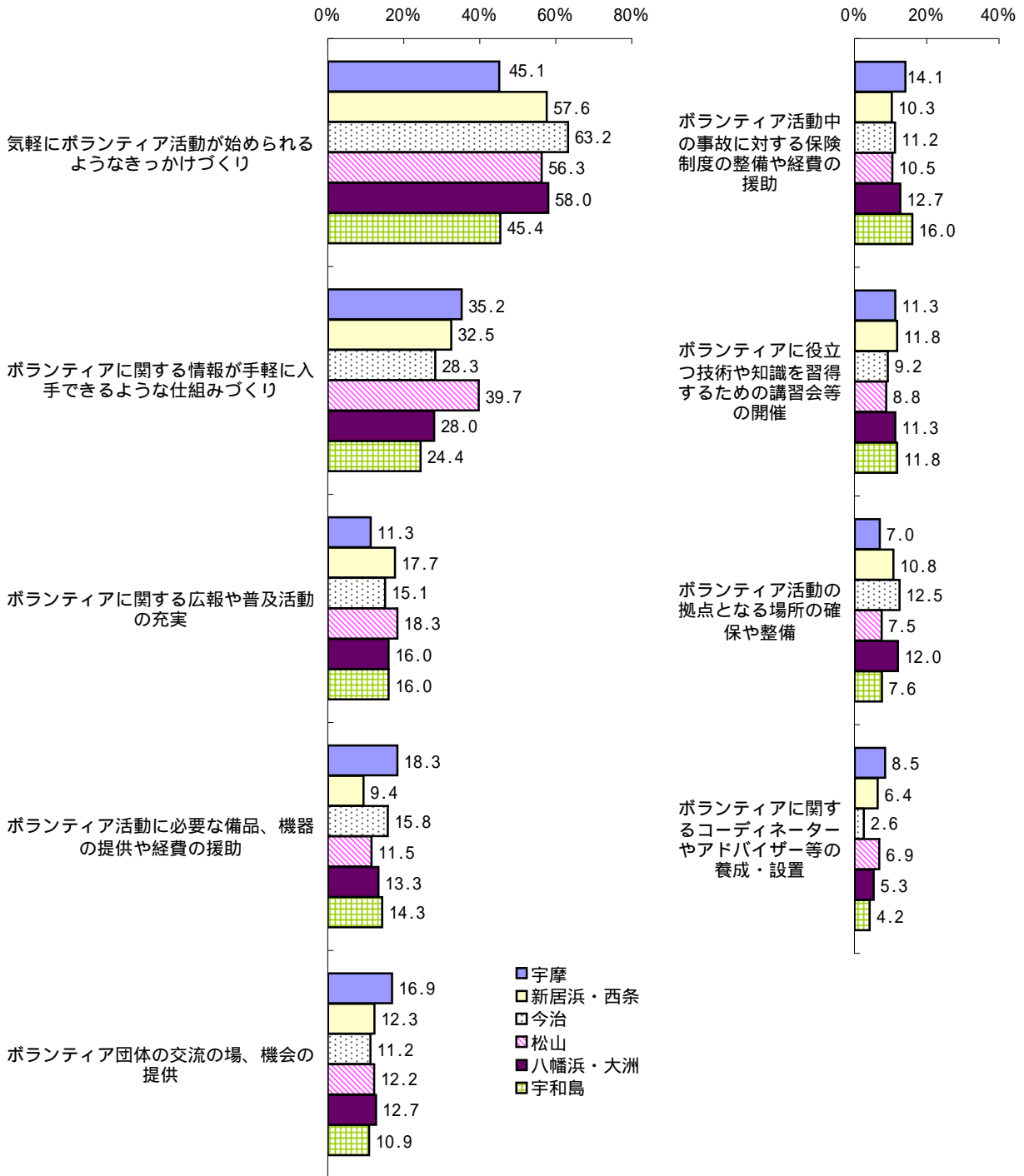
このほか、「ボランティア活動中の事故に対する保険制度の整備や経費の援助」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高くなるほど多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「気軽にボランティア活動が始められるようなきっかけづくり」と答えた人の割合が最も多く、中でも今治圏域で他の圏域と比較して多くなっている。一方、宇摩圏域（45.1%）、宇和島圏域（45.4%）では他の圏域と比較して特に少なくなっている。

また、「ボランティアに関する情報が手軽に入手できるような仕組みづくり」と答えた人の割合は、松山圏域で、「ボランティア活動に必要な備品、機器の提供や経費の援助」及び「ボランティア団体の交流の場、機会の提供」は宇摩圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。



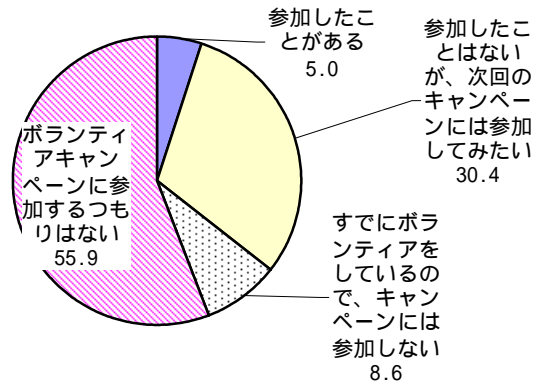
問34-2 ボランティアキャンペーンへの参加

県では、ボランティア活動への参加のきっかけづくりとして、県内のボランティア募集情報を掲載した「ボランティアイベントブック」を広く配布し、県民の皆さんに実際にボランティアを体験していただく「サマーボランティアキャンペーン(7月～9月)」、「ウインターボランティアキャンペーン(12月～1月)」を実施しています。

これまでに「イベントブック」で紹介したボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

| | (%) |
|----------------------------------|------|
| 1 参加したことがある | 5.0 |
| 2 参加したことはないが、次回のキャンペーンには参加してみたい | 30.4 |
| 3 すでにボランティアをしているので、キャンペーンには参加しない | 8.6 |
| 4 ボランティアキャンペーンに参加するつもりはない | 55.9 |

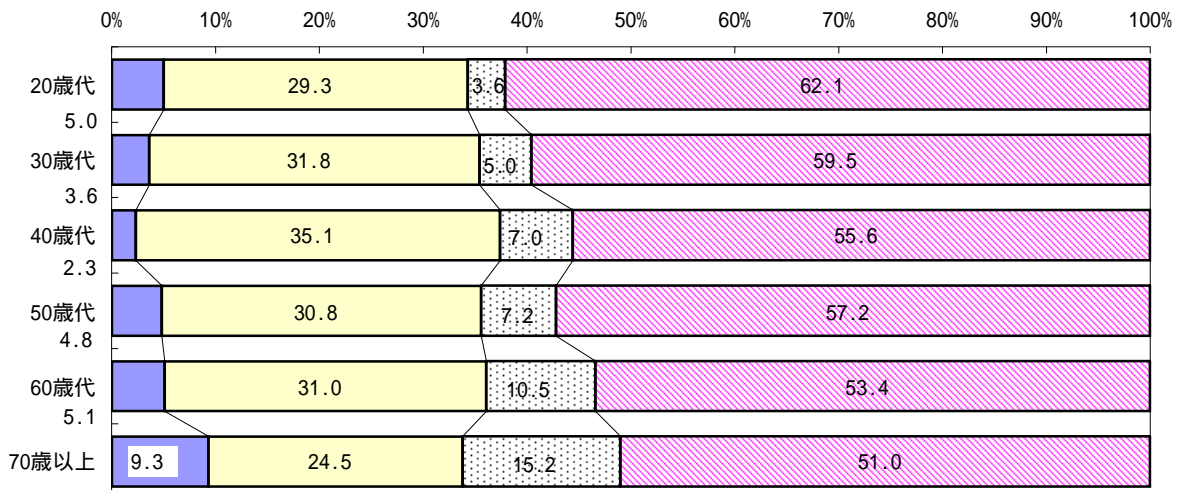
これまでに「イベントブック」で紹介したボランティア活動に参加したことがあるかを聞いたところ、「ボランティアキャンペーンに参加するつもりはない」と答えた人の割合が55.9%と最も多く、以下「参加したことはないが、次回のキャンペーンには参加してみたい」(30.4%)、「すでにボランティアをしているので、キャンペーンには参加しない」(8.6%)、「参加したことがある」(5.0%)の順となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「ボランティアキャンペーンに参加するつもりはない」と答えた人の割合が最も多く、概ね年齢層が低くなるほど多くなっている。

また、「参加したことがある」と答えた人の割合は70歳以上で、「参加したことはないが、次回のキャンペーンには参加してみたい」は40歳代で、それぞれ他の年齢層と比較して多くなっており、「すでにボランティアをしているので、キャンペーンには参加しない」は年齢層が高くなるほど多く、60歳代では10.5%、70歳以上では15.2%に達している。

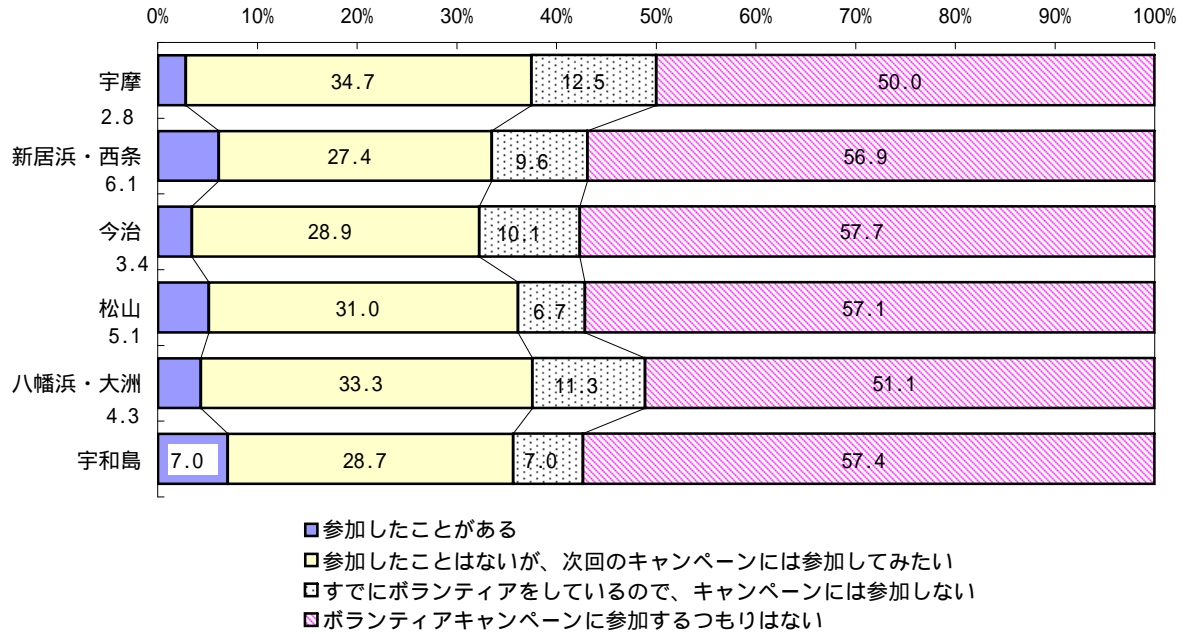


- 参加したことがある
- 参加したことはないが、次回のキャンペーンには参加してみたい
- すでにボランティアをしているので、キャンペーンには参加しない
- ボランティアキャンペーンに参加するつもりはない

【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「ボランティアキャンペーンに参加するつもりはない」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「参加したことがある」と答えた人の割合は宇和島圏域で、「参加したことはないが、次回のキャンペーンには参加してみたい」及び「すでにボランティアをしているので、キャンペーンには参加しない」は宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。



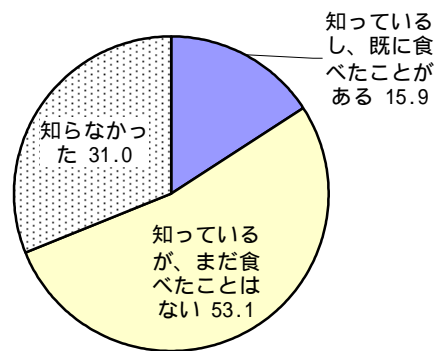
「愛媛甘とろ豚」の認知度

問35 「愛媛甘とろ豚」の認知度

県では、新たに開発したブランド豚「愛媛甘とろ豚」を、平成22年4月23日から発売開始しました。あなたは、この「愛媛甘とろ豚」を知っていますか。また、食べたことがありますか。次の中から一つ選んで番号を でかこんでください。

| 番号 | 内容 | (%) |
|----|---|------|
| 1 | 「愛媛甘とろ豚」のことは知っているし、既に食べたことがある | 15.9 |
| 2 | 「愛媛甘とろ豚」のことは知っている（聞いたことはある）が、まだ食べたことはない | 53.1 |
| 3 | 「愛媛甘とろ豚」という豚があることを知らなかった | 31.0 |

「愛媛甘とろ豚」を知っているか、また、食べたことがあるかを聞いたところ、「知っているが、まだ食べたことはない」と答えた人の割合が53.1%と最も多く、以下「知らなかった」(31.0%)、「知っているし、既に食べたことがある」(15.9%)の順となっている。

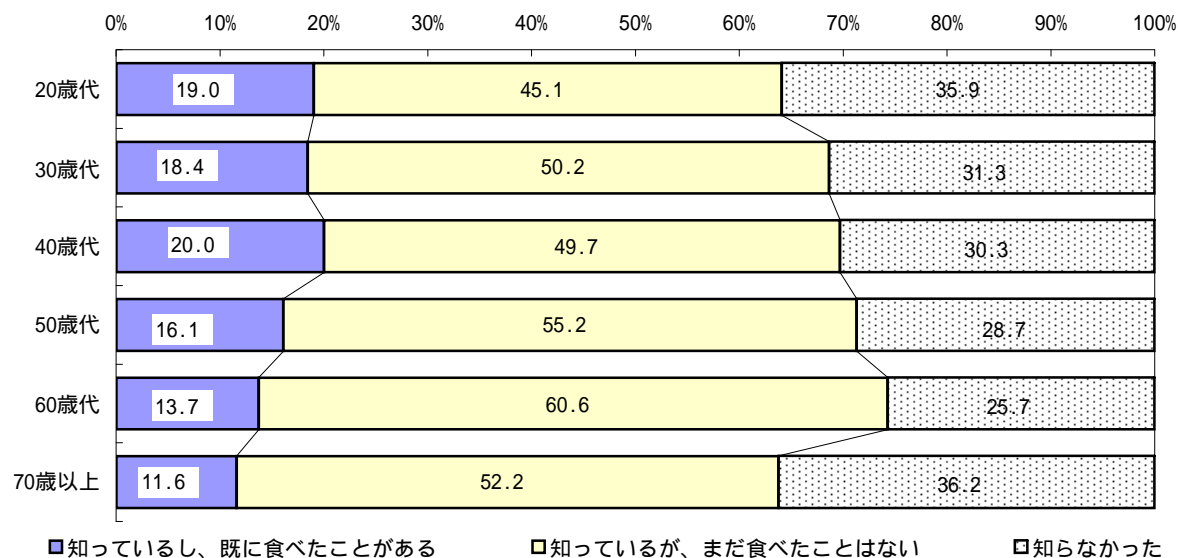


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「知っているが、まだ食べたことはない」と答えた人の割合が最も多く、中でも60歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。

また、「知っているし、既に食べたことがある」と答えた人の割合は、40歳代以下でやや多くなっているほか、「知らなかった」は20歳代、70歳以上で他の年齢層と比較して多くなっている。

なお、「知っている」（「知っているし、既に食べたことがある」及び「知っているが、まだ食べたことはない」）と答えた人の割合は、70歳以上を除けば、年齢層が高くなるほど多くなっているが、70歳以上では63.8%にとどまっておリ、最も少なくなっている。

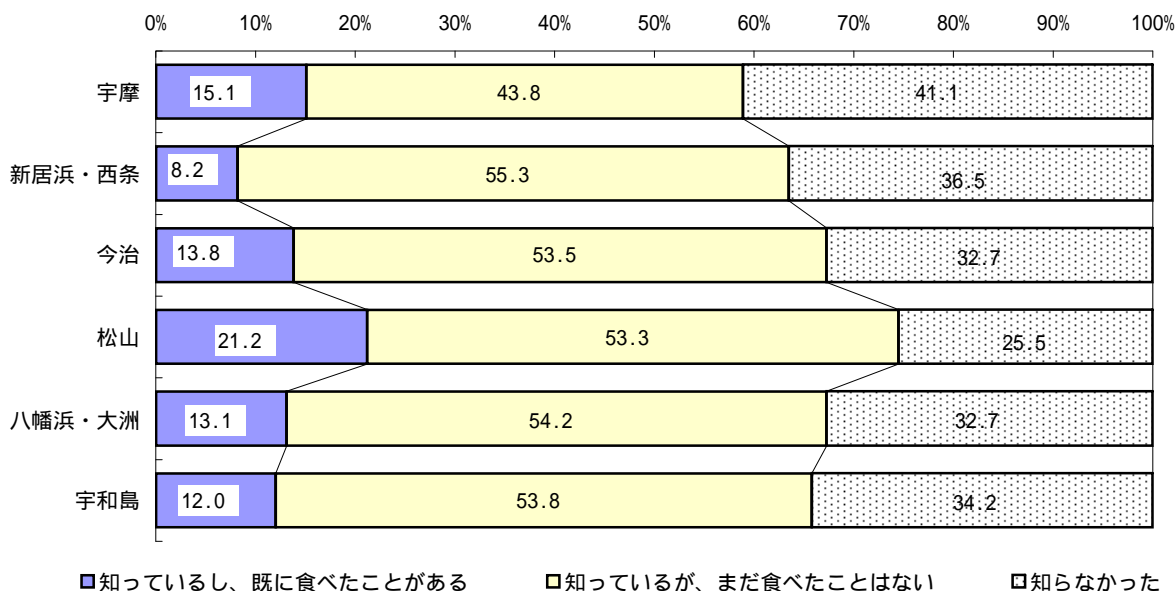


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「知っているが、まだ食べたことはない」と答えた人の割合が最も多くなっているが、宇摩圏域では43.8%と他の圏域が50%を超えているのに比べ、唯一50%を切っている。

また、「知っているし、既に食べたことがある」と答えた人の割合は、松山圏域で、「知らなかった」は宇摩圏域、新居浜・西条圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。

なお、「知っている」（「知っているし、既に食べたことがある」及び「知っているが、まだ食べたことはない」）と答えた人の割合は、松山圏域で74.5%と他の圏域と比較して特に多くなっている。



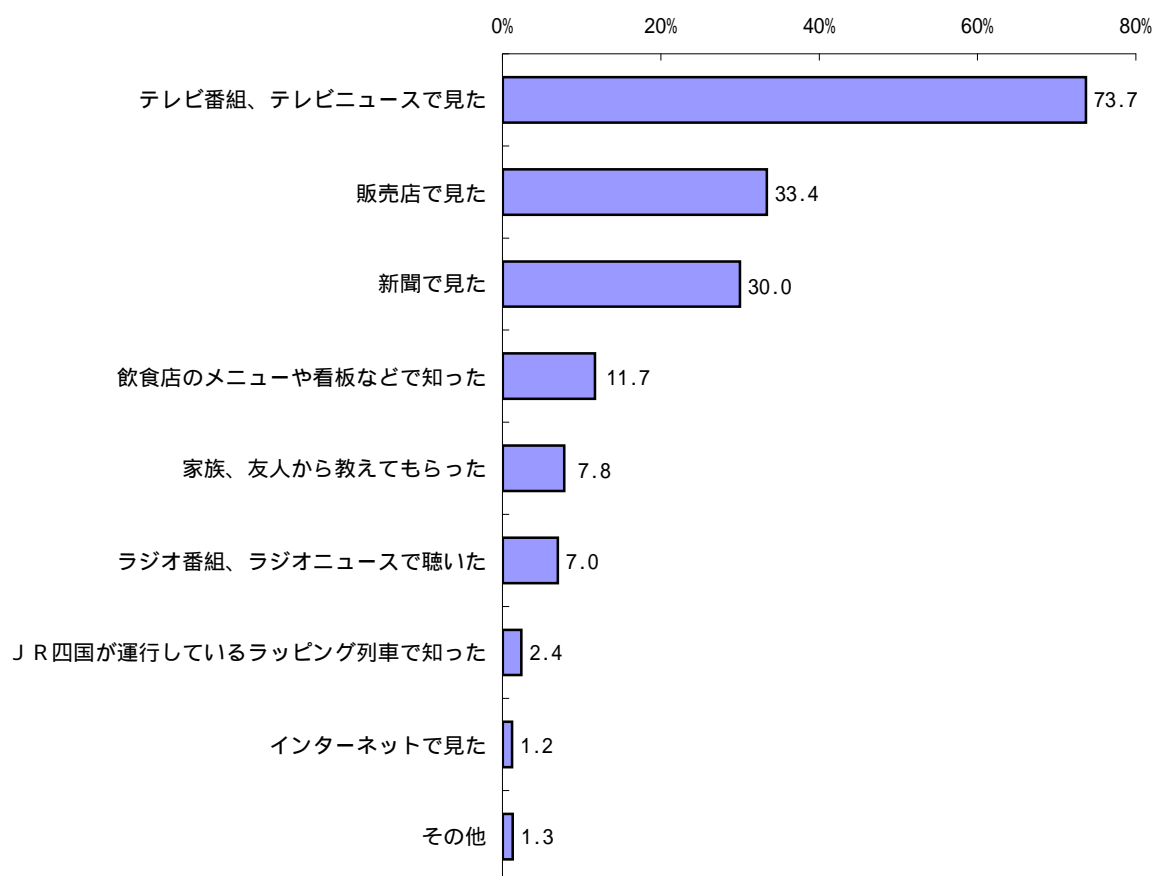
問35 - 1 「愛媛甘とろ豚」を知った方法

あなたは、「愛媛甘とろ豚」をどこで知りましたか。次の中からいくつでも選んで番号を
でかこんでください。

(N = 899人) (複数回答) (%)

| | | |
|---|------------------------|------|
| 1 | 新聞で見た | 30.0 |
| 2 | テレビ番組、テレビニュースで見た | 73.7 |
| 3 | ラジオ番組、ラジオニュースで聴いた | 7.0 |
| 4 | インターネット(パソコン等)で見た | 1.2 |
| 5 | 販売店(百貨店、スーパー、精肉店)で見た | 33.4 |
| 6 | 飲食店のメニューや看板などで知った | 11.7 |
| 7 | JR四国が運行しているラッピング列車で知った | 2.4 |
| 8 | 家族、友人から教えてもらった | 7.8 |
| 9 | その他 | 1.3 |

「愛媛甘とろ豚」をどこで知ったかを聞いたところ、「テレビ番組、テレビニュースで見た」と答えた人の割合が73.7%と特に多く、以下「販売店(百貨店、スーパー、精肉店)で見た」(33.4%)、「新聞で見た」(30.0%)、「飲食店のメニューや看板などで知った」(11.7%)などの順となっている。

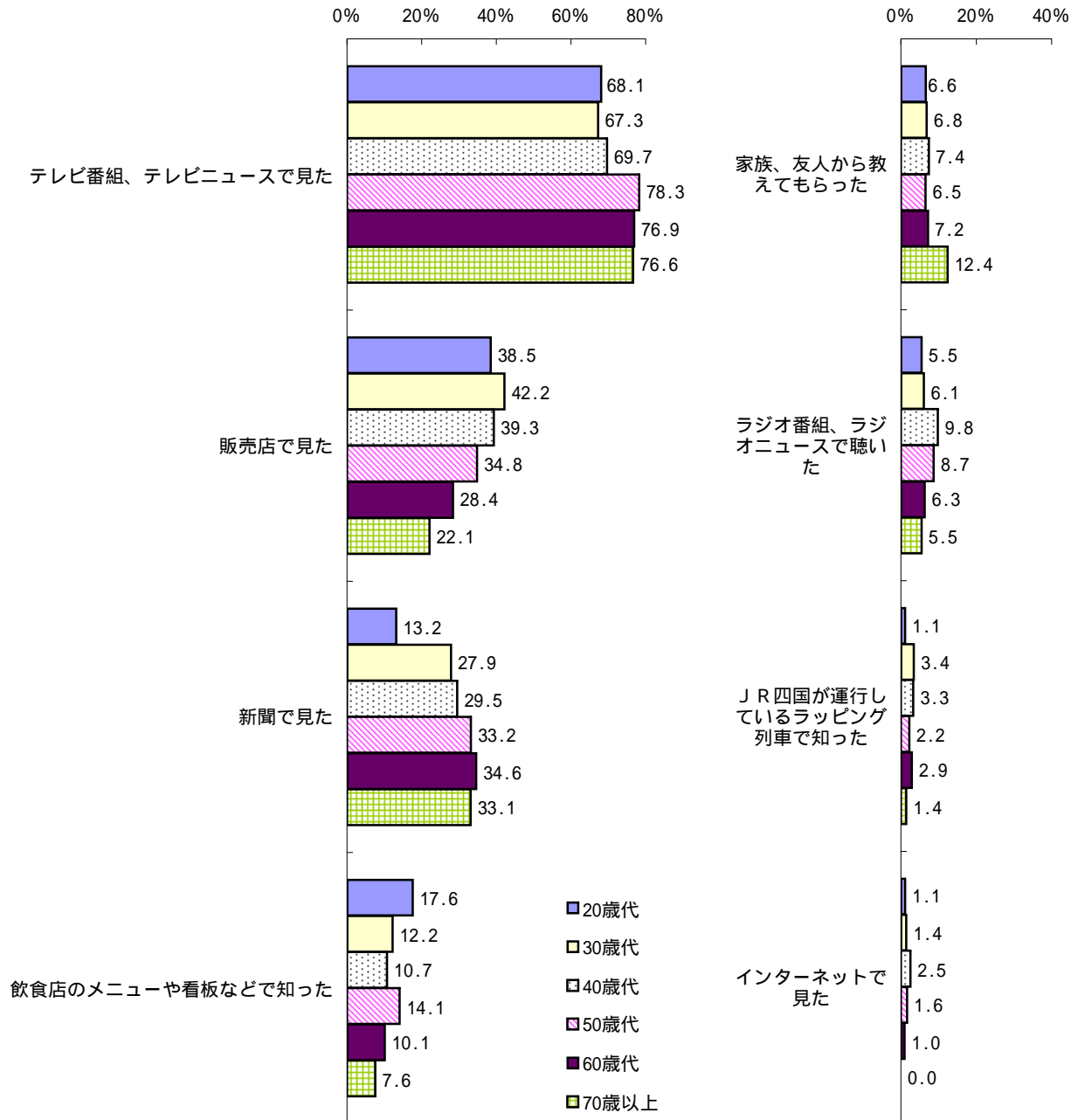


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「テレビ番組、テレビニュースで見た」と答えた人の割合が最も多く、中でも50歳代以上では75%を超え、40歳代以下の70%弱と比較して多くなっている。

また、「新聞で見た」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高くなるほど多く、20歳代（13.2%）では他の年齢層と比較して特に少なくなっている一方、「販売店で見た」及び「飲食店のメニューや看板などで知った」は、概ね年齢層が低くなるほど多くなっている。

このほか、「家族、友人から教えてもらった」と答えた人の割合は、70歳以上で他の年齢層と比較して多くなっている。

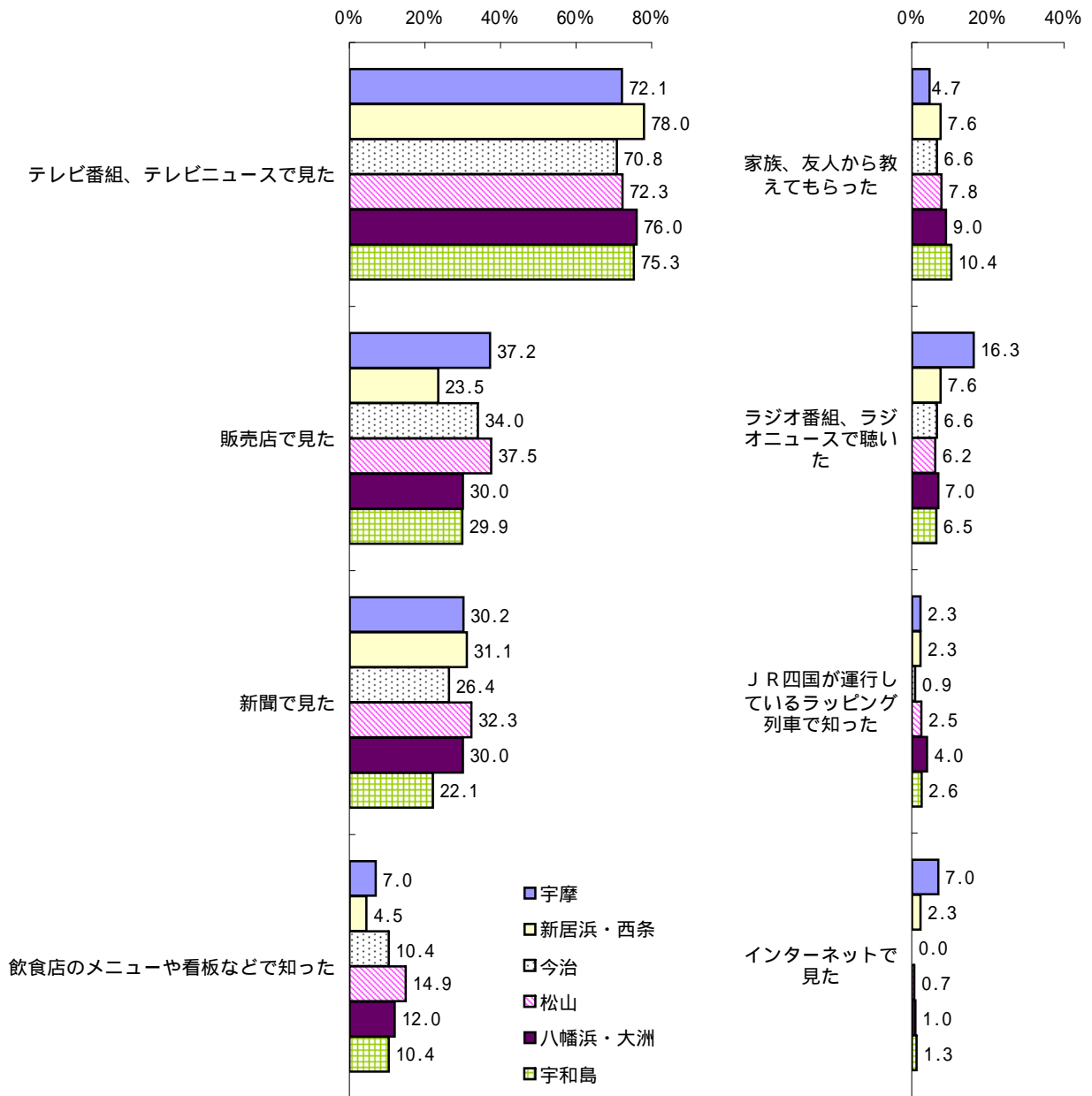


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「テレビ番組、テレビニュースで見た」と答えた人の割合が最も多く、中でも新居浜・西条圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域で他の圏域と比較して多くなっている。

また、「販売店で見た」と答えた人の割合は、宇摩圏域、今治圏域、松山圏域で、「飲食店のメニューや看板などで知った」は松山圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている一方、新居浜・西条圏域では、この2項目で他の圏域と比較して少なくなっている。

このほか、「新聞で見た」と答えた人の割合は、宇和島圏域で他の圏域と比較して少なくなっている一方、「ラジオ番組、ラジオニュースで聴いた」及び「インターネットで見た」はどちらも宇摩圏域で他の圏域と比較して多くなっている。



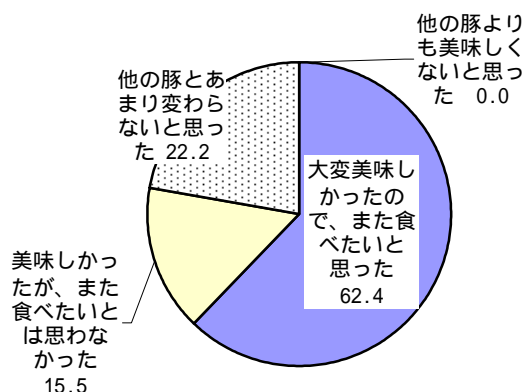
問35-2 「愛媛甘とろ豚」を食べた感想

あなたは、「愛媛甘とろ豚」を食べて、どのように感じましたか。次の中から一つ選んで番号を でかこんでください。

| | (N = 194人) (%) |
|--------------------------------------|----------------|
| 1 大変美味しかったので、また購入したい(又は食べに行きたい)と思った | 62.4 |
| 2 美味しかったが、また購入したい(又は食べに行きたい)とは思わなかった | 15.5 |
| 3 他の豚とあまり変わらないと思った | 22.2 |
| 4 他の豚よりも美味しくないと思った | 0.0 |

「愛媛甘とろ豚」を食べて、どのように感じたかを聞いたところ、「大変美味しかったので、また購入したい(又は食べに行きたい)と思った」と答えた人の割合が62.4%と最も多く、以下「他の豚とあまり変わらないと思った」(22.2%)、「美味しかったが、また購入したい(又は食べに行きたい)とは思わなかった」(15.5%)の順となっており、「他の豚よりも美味しくないと思った」と答えた人はいなかった。

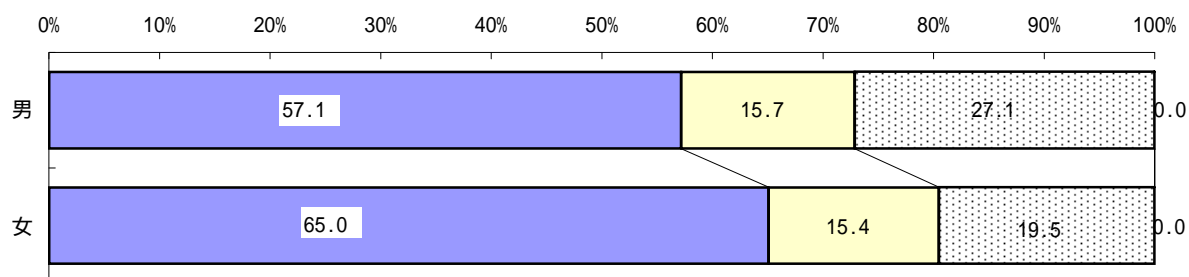
また、「美味しかった」(「大変美味しかったので、また購入したい(又は食べに行きたい)と思った」及び「美味しかったが、また購入したい(又は食べに行きたい)とは思わなかった」)と答えた人の割合は、77.9%となっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「大変美味しかったので、また購入したい(又は食べに行きたい)と思った」と答えた人の割合が最も多く、特に女性(65.0%)の方が男性(57.1%)より7.9ポイント多くなっている。

また、「美味しかった」と答えた人の割合は、女性(80.4%)の方が、男性(72.8%)より7.6ポイント多くなっている。一方、「他の豚とあまり変わらないと思った」は男性(27.1%)の方が女性(19.5%)より7.6ポイント多くなっている。



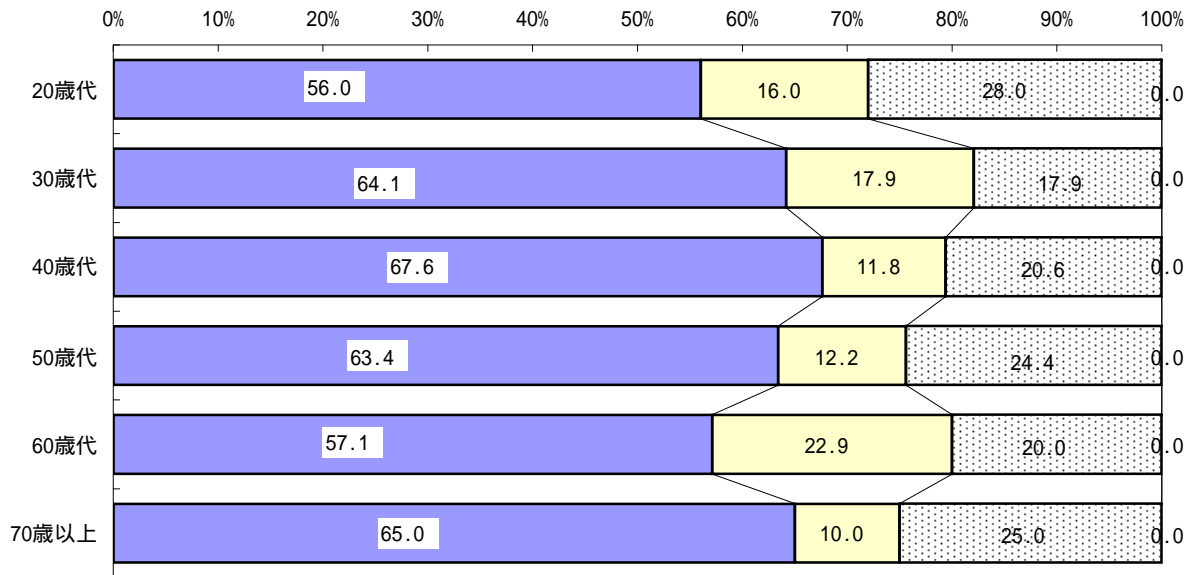
- 大変美味しかったので、また購入したい(又は食べに行きたい)と思った
- 美味しかったが、また購入したい(又は食べに行きたい)とは思わなかった
- ▨ 他の豚とあまり変わらないと思った
- (with diagonal lines) 他の豚よりも美味しくないと思った

【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「大変美味しかったので、また購入したい（又は食べに行きたい）」と思った人の割合が最も多く、中でも30歳代から50歳代、70歳以上で多くなっている。

また、「美味しかった」と答えた人の割合は、30歳代（82.0%）で最も多く、次いで60歳代（80.0%）で多くなっているが、60歳代では「美味しかった」と答えた人のうち、「美味しかったが、また購入したい（又は食べに行きたい）とは思わなかった」が22.9%を占め、他の年齢層と比較して多くなっている。

このほか、「他の豚とあまり変わらないと思った」と答えた人の割合は、20歳代、50歳代、70歳以上で他の年齢層と比較して多くなっている。



- 大変美味しかったので、また購入したい（又は食べに行きたい）」と思った
- 美味しかったが、また購入したい（又は食べに行きたい）とは思わなかった
- ▨他の豚とあまり変わらないと思った
- 他の豚よりも美味しくないと思った

問35-3 「愛媛甘とろ豚」は美味しかったが、また食べたいとは思わない理由

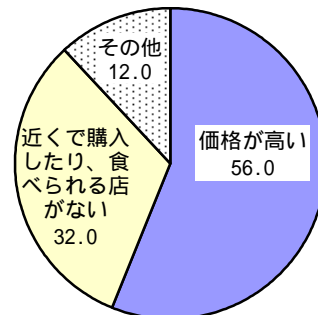
「愛媛甘とろ豚」は美味しかったが、また購入したい（又は食べに行きたい）とは思わなかった理由について、最も当てはまるものを次の中から一つ選んで番号を でかこんでください。

(N = 25人(注1)) (%)

| | |
|----------------------|------|
| 1 価格が高い | 56.0 |
| 2 近くで購入したり、食べられる店がない | 32.0 |
| 3 その他 | 12.0 |

(注1) 母数が少ないため、性別、年齢別等のクロス集計は省略

「愛媛甘とろ豚」は美味しかったが、また購入したい（又は食べに行きたい）とは思わなかった理由について聞いたところ、「価格が高い」と答えた人の割合が56.0%と特に多く、以下「近くで購入したり、食べられる店がない」（32.0%）、「その他」（12.0%）の順となっている。



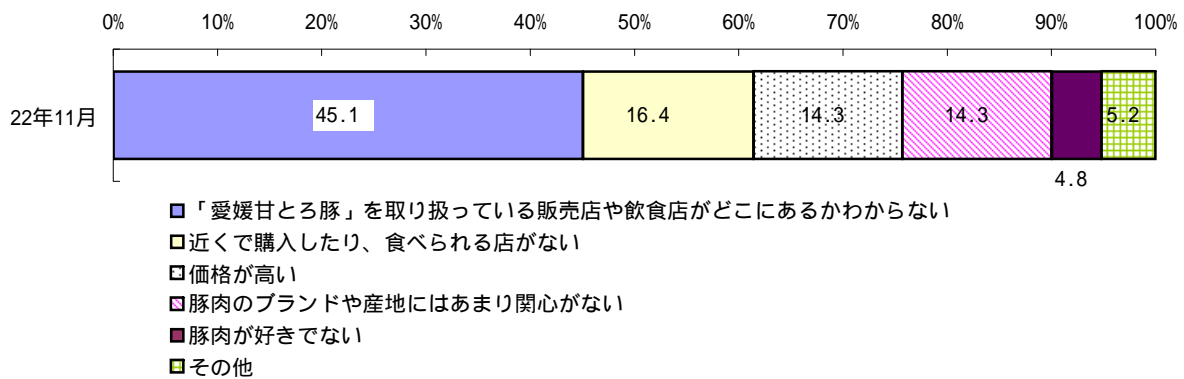
問35-4 「愛媛甘とろ豚」を食べたことがない理由

「愛媛甘とろ豚」を食べたことがない理由について、最も当てはまるものを次の中から一つ選んで番号を でかこんでください。

(N = 652人) (%)

| | | |
|---|-------------------------------------|------|
| 1 | 価格が高い | 14.3 |
| 2 | 近くで購入したり、食べられる店がない | 16.4 |
| 3 | 「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない | 45.1 |
| 4 | 豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない | 14.3 |
| 5 | 豚肉が好きでない | 4.8 |
| 6 | その他 | 5.2 |

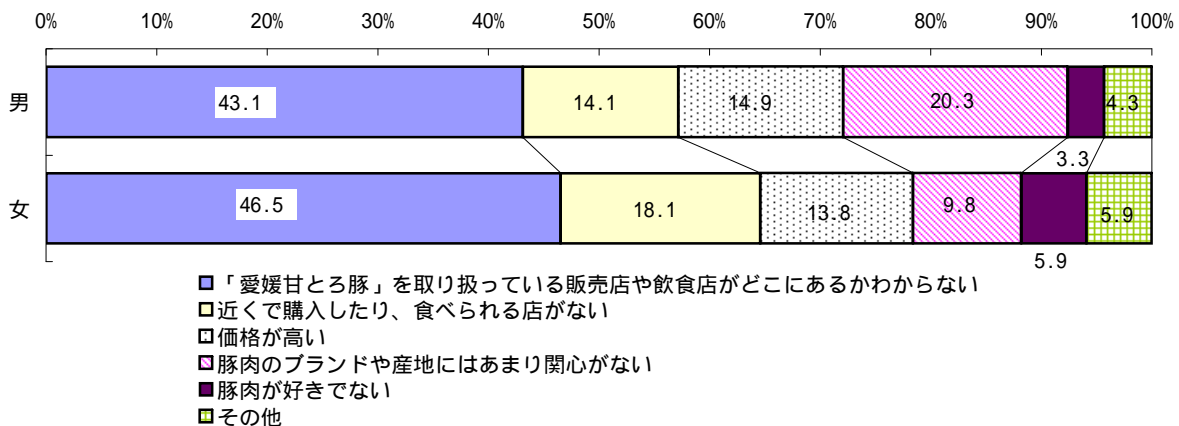
「愛媛甘とろ豚」を食べたことがない理由について聞いたところ、「「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合が45.1%と特に多く、以下「近くで購入したり、食べられる店がない」(16.4%)、「価格が高い」、「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」(それぞれ14.3%)などの順となっている。



【性別】

性別にみると、男女ともに「「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合が最も多く、特に女性(46.5%)の方が、男性(43.1%)より3.4ポイント多くなっている。

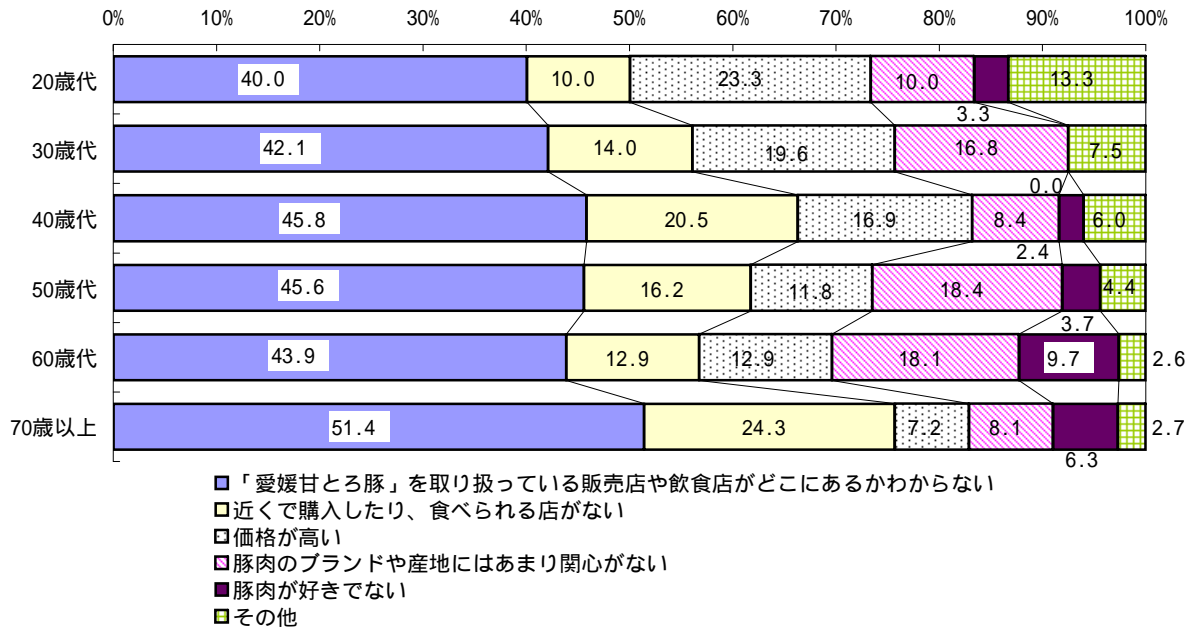
また、「近くで購入したり、食べられる店がない」と答えた人の割合は、女性の方が男性より4.0ポイント多くなっているほか、「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」は男性の方が女性より10.5ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合が最も多く、中でも70歳以上で唯一50%を超え、他の年齢層と比較して多くなっている。

また、「近くで購入したり、食べられる店がない」と答えた人の割合は、40歳代、70歳以上で、「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」は30歳代、50歳代、60歳代で、それぞれ他の年齢層と比較して多くなっているほか、「価格が高い」は概ね年齢層が低くなるほど多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合が最も多く、中でも東予地域（宇摩、新居浜・西条、今治圏域）で他の圏域と比較して多くなっている。

また、「近くで購入したり、食べられる店がない」と答えた人の割合は、八幡浜・大洲圏域（26.7%）で他の圏域と比較して特に多くなっているほか、「価格が高い」は宇摩圏域、松山圏域で、「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」は宇和島圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。

